京城日報
十七日夕刊
定價 本紙 一部金三錢五厘 一ヶ月金六十五錢
發行兼編輯人 奧田直毅
印刷人 小川三之介
發行所 京城日報社

○支那の借款申込

支那政府は十五日午後五國財團に一千萬磅(一億圓)前後の借款を申込みたり(北京特電)

○支那の日本態度滿足

事件眞相判明後要求交渉に移る

支那政府の回答に對し十五日林公使は小幡參事官船津書記官と共に外交部に到り事件の事實問題に就き說明を爲し事件の眞相判明の後要求條件に關する交渉に移るべく支那側は日本政府の此の態度に對し頗る滿足を表し居れり(北京特電)

○塞軍勃兵を潰走せしむ

英軍も亦兩地を占領す

塞爾維軍は勃牙利兵を潰走せしめてエクレスを占領し他二十八を鹵獲しゴルニツエヂを略取せり英軍は又マクゴチ占領せり公報に據ればヴエルデアエルグをも占領せりとあり(倫敦電報)

○コムブルを三方より脅威

露國來電に曰く英佛軍はコムブルを三方より脅威しつゝあり(倫敦電報)

○希臘新內閣組織前の商議

倫敦來電に曰く希臘新首相に擬せられつゝあるデミトラコプロス氏はコンスタンチン陛下より四十八時間の猶豫を得て其の聯合國公使と商議しつゝあり(倫敦電報)

○周前總長來る

支那の周前財務總長は今回天津佛國租界の寓居を引拂ひ家族十二名と共に大倉組の斡旋にて渡來十六日夜商船潮南丸にて門司經由神戶に向ふ(門司特電)

○宇都宮視察團

十七日釜山上陸

宇都宮商業會議所主催同會議所會頭田中勝次郎氏以下二十六名の鮮滿實業視察團一行は十七日朝入港の對馬丸にて釜山著大池旅館に投宿午前十一時より釜山商業會議所樓上にて茶菓の饗應を受け次で水產市場、龍頭山、市中等を視察したる上十八日午前六時五分發列車にて大邱に向ふ筈なり(釜山特電)

◎家蠶繭高

秋繭豫想額

大正五年の秋蠶豫想高を聞くに本年は其の初期に於て朝鮮全道を通じ雨量概して多かりしも幸に兒蠶の發育良好なりし結果其の收繭高は約六千七百石の見込にして之れを前年に比すれば五千石の增加なり從つて之れに本年の春繭增收高一萬二千石を加ふれば大正五年の春秋蠶繭總額は前年に比し一萬七千石の增加を見る可き豫想にして實に七萬六千石の收繭を得る次第なり而して昨年產繭の內地移出額は約八十萬圓なりしが本年は前記の如く收繭の增加せるのみならず其の價格亦騰貴せるを以て內地への移出額は少くとも百八十萬圓を下らざる可く此の豫想にして的中せば之を前年に比するに實に百萬圓の增加なりとす

◎地方工業傳習

地方工業傳習所は大正四年末現計に於て總數二十七個所を算し內恩賜授產金の經營に係るもの八、地方費の經營に屬するもの三、個人又は組合の經營に依るもの十六にして之を事業の種類より見るときは染織業十九製紙業四(兼一)金工及び木竹細工業四(兼一)蠟石細工業、漁具製造業、各一箇所なり、而して同年內に於ける卒業生數は染織二百六十八人製紙三十七人金工及び木竹細工二十三人蠟石細工十八人漁具製造十三人合計三百九十三人に達し卒業後は自ら事業を經營し又は技術者として官公署若くは事業家に雇聘せらるゝ等各自修得せる技術を實地に應用し以て地方產業に裨益するところ尠からざるは喜ぶ可し

◎水害復舊工費

本年は鮮內を通じ今日までに既に六回の水害あり道路の崩壞、橋梁の流失は勿論鐵道線路の損害等運輸交通上に及ぼせる損害少からず之が復舊工事は刻下の急を要すること勿論にして當局にても水害當時既に其れぐ其の損害の程度を調査し復舊工費を計上して緩急に應じ漸次工事に着手し居れるが其の全損害高並に工費支出の途を聞くに鐵道局所管の鐵道線路若くは鐵橋等の損害高は約三十萬圓なるが之れが復舊工事は一日も忽諸に付す可からざるより取り敢へず臨時部に屬する改良及び建設費中より其の一部を支出し殘部は第二豫備金中に於て支出す可く又土木局所管即ち道路橋梁の復舊工事は約四十萬圓にして過は全部第二豫備金中より支出せらる可し

◎水利組合細則

水利組合令に伴ふ施行規則は同令成案後引續き內務部に於て作成中なりしが此の程全部脫稿を告げ部內の審議を經て既に關係各部局に廻附せり而して水利組合令案は之れが施行期の關係上當局にても非常に審議を急ぎ居れるを以て遠からず內務省に廻付の運びを見る可く法制局との交涉進捗せば本年度內に發布せられ年度代りより實施の運びを得るやも計られずと

◎忠北米穀檢査

忠北產移出米の大部分を香吐しつゝある烏致院には從來忠南道にて米穀檢查を行ひつゝあるも單に玄米に對する檢查のみなるに忠北米の大部分は白米にて移出され無檢查の儘各地に移出さるゝため自然調製粗雜に流れ米價亦低廉を免かれざるを以て忠北道にては今回移出白米檢查の必要を認め種々調査中の處此程忠南道當局と協議の上烏致院檢查所を南北兩道共同にて經營せんとて目下交涉中の由なるが未だ南道側の意見發表に至らず愈々實現迄には尙幾多の折衝を要すべく傳へられつゝあり仄聞する所に依れば忠南道廳にては全然右計畫に反對意見を有するもの多きため交涉不調に終るならん趣きなり然れば今後忠北道當局は淸州郡五松里に米穀檢查所を新設して忠北移出穀物約十萬石の合格檢查を勵行し以て忠北產米の聲價を昂むるに努むるに至るならんと

◎淸州溜池認可

忠北道にて兩三年前より調查計畫中なりし上黨城下に一大溜池設置の議は今回漸く諸種の調查を了し其筋の認可濟となりたれば近く工事に着手すべしとのことなり今其設計其他を見るに堤堰の位置は無心川の支流長坂川の水源なる淸州郡四州面明岩里にて上黨城下の山間に總面積八町三反餘堤塘延長百間高さ十餘間の池を設け上流約四百間の場所に完全なる砂防工事を施し以て最大貯水量一千四百三十萬立方尺の貯水をなす筈にて本年十月工を起し六年十二月末迄に竣工の豫定なる由にて此の工事費總計三萬一千餘圓內金五千圓を補助に依り約六千圓は關係地主より支出し殘約二萬圓を賦役人夫に依りたるが愈々完成の曉は同所より延長二千百五十間の用水路を掘鑿し那蘇敎會堂淸州分監の前を通じて市街の東端より北郊外に及ぼし附近一帶に所在の從來天水に依るの外更に水利の便なく旱魃に際しては全然收穫不能なりし水田百五十町步及び二十七八町步の畑地にて之に依りて水田となるもの等は供水すること〻なる外一方淸州分監附近より水路を淸州市內各下水溝に通じて汚穢物の流失を圖ることゝなしたれば夏季蚊蠅の發生及び惡疫流行の防止ともなるべく市の衞生上に裨益する多大なるもののあるべし

◎客月船便旅客數

仁川港より客月中內地或は支那方面へ向け出發せる旅客或は內地又は支那より仁川を經て各地へ向け旅行せる旅客數を聞くに出發せる者には內地へ百七十三名支那へ百九十六名朝鮮人內地へ四名支那人支那へ二百十一名米國人支那へ三名英國人支那へ一名合計日本へ出發せる者百七十七名支那へ向け出發せる者四百二十一名にて當港に上陸せる者には日本より內地人百九十名支那より百九名朝鮮人の內地より十六名支那より七名支那人の支那より千四百十九名合計日本よりせる者二百六名支那よりの者千五百七十五名なるが上陸客の內支那人の千四百十九名と云ふは北鮮地方に移任する所謂勞働移民のデッキパッセンジャアとなりて當地を通過する爲め斯くは船便待に來航する者なりと云ふも中には僅少の一二等船客も通算しある事は無論なりと(仁川)

◎調查局減員

年末迄に千六百人解雇

臨時土地調查局にては目下北鮮方面に施行しつゝある同局測地作業來る十月末を以て完了を告ぐるに付十月十一月十二月の三箇月に亙り內鮮人判任官雇員以下約千六百人の解雇を發表する由にて目下主務課は其の調查に多忙を極めつゝありと

◎釜久保少將視察

步兵第三十九旅團長釜久保少將は大田第七十九聯隊巡閱及び今秋舉行演習地形視察の爲め十六日午後五時着列車にて來田驛前には二箇中隊整列し來田中の花田公州法院長及び官民多數の出迎へありたり

◎仙波司事辭職 鮮銀大邱支店長より本店詰を命ぜられし仙波正太郎氏は都合により辭職し本店に赴任せずして近く引揚ぐる由

◎新線開通と郵便速達

九月二十一日より文川永興間鐵道開通に伴ひ京城發咸興宛の郵便物は從來よりも約二十三時間速達する事となりし外又咸興以外の左記各地行きも亦左の如く早著する事となれり

京城より高原へ　約二十三時間
同　永興へ　同
同　定平へ　同
同　新興へ　約二十四時間
同　長津へ　同

又咸興方面より京城宛の郵便物は從來の午後八時三十分發のものより二十一時間丈け早著し乃ち前夜の八時三十分差立の郵便は翌日の京城著となるものなり又左記各地發京城著の郵便も亦下記の如く速達す

高原より京城へ　約十九時間
永興より同　約二十二時間
定平より同　約二十一時間
新興より同　約十九時間
長津より同　約十七時間

乃ち鐵道新線の開通により京城及び其の以遠と咸興及び其の附近との發著郵便物は著しく速達し從來京城著二日乃至三日なりしも今後は三日目著の便は只京城午後四時發の分のみにして其他は總べて二日以內にて足る事となれり

◎元永航路廢止

朝鮮郵船會社の經營に係る元山永興間の航路は既報の如く元永線全通に付二十日限り廢止する事に決定せりと

◎永興電信取扱所新設 九月廿一日以降元永鐵道永興停車場に於て午前八時より午後八時まで公衆電報の取扱をなす

元山

▲元山府戶口 元山府廳の調查に係る六月末現在元山府管內に於ける戶口數を見るに內地人二千五百七十一戶七千五百四十二人、朝鮮人四千一百十一戶、一萬五千六百四十八人、支那人一百七戶五百六十八人其他外國人十四戶二十一人にして之れが合計六千二百八十七戶二萬三千七百六十三人に達し居れり ▲商議豫算却下 元山商業會議所大正五年度經費豫算案及び賦課徵收方法は十數項に亙り不備の點ありとし各々訂正並に意見書を附し十五日元山府廳を經由し商業會議所に却下せられたり ▲軍旗奉拜式 步兵第七十四聯隊元山派遣第一大隊に於ける軍旗奉拜式は來る二十五日を以て舉行さるゝ筈にて軍旗は來る二十四日午後六時入港の黃海丸にて來元すべしと ▲第三期檢閱 步兵七十四聯隊元山派遣第一大隊第三期檢閱は來る二十六七日の兩日聯隊長臨場の上之れを施行さるゝ筈なりと ▲野手稅關長來元 鎭南浦稅關長野手耐氏(前元山稅關長)は十六日夕鐵路來元し目下稅關會議に出席の爲め元山滯在中なるが總務課長を伴ひ同夜北航の鏡城丸にて惠山鎭に向ひ更に鴨綠江を下り赴任すべき豫定なりと

春川

▲銃劍術競技會 春川守備隊に於ては來る二十日目下春川に集合中なる金化、麟蹄、利川中下士以下の銃劍術競技會を開催の筈なるが當日は在鄕軍人學校生徒の見學を許すべしと ▲虎疫豫防諭告 藤谷江原道警務部長は八日附を以て管下に虎疫豫防に關する諭告を發したり ▲自動車運轉 道路水害の爲め十日以來運轉中止の京春自動車は十六日より運轉を開始す ▲聯隊長來春 步兵第七十九聯隊長富塚大佐は守備隊檢閱の爲め十五日午後三時來春多數官民の出迎を受け秋野旅館に投宿多田大尉栗飯中尉四方二等軍醫藤本少尉は第三期檢閱の爲め利川より來春いづれも旅館に投宿 ▲前支店長出發 春川前農銀支店長小山七郎氏は家族の都合により滯在中の處十五日家族を纏め東京に向け出發したるが同縣人他人見送盛なりき

沙里院

▲軍隊宿所打合せ 沙里院に於ては九月十五日夜在鄕軍人分會事務所內に於て在鄕軍人及び郡廳並に東拓及び地方有志等數十名會合し來る十月中旬沙里院地方に於ける機動演習のため來れる軍隊の宿營上に就き打合せ會を開催せり ▲秋季淸潔法 沙里院衞生組合に於ては九月二十一日より秋季淸潔法を施行同時に警察官に於て嚴密なる檢查ある筈 ▲日蓮宗布敎所 既報の如く當地に滯在せる日蓮宗僧石渡日敎氏は布敎所を建設する目的を以て奔走中の處愈々今回本堂建設の議成り目下新築工事に著手中因に本堂坪數は二十坪にて工事費は一千六百圓の由なり ▲學校新築 既報の如く沙里院公立普通學校は年々生徒の增加に伴ひ狹隘を感ずるもの〻如し依つて今回愈々新築工事に著手せるを以て來月中旬完成の見込なり因に建坪四十坪の由なり

仁川

▲仁川經濟會 仁川經濟會例會は十五日午後三時より商業會議所樓上に於て開會せられたるが種々歡談する所ありて夕刻散せりと ▲十六共同丸 共同汽船會社汽船第十六共同丸は十六日午後四時芝罘より入港せり ▲仁川主要產物 八月末日調查による仁川一年間の主要產物左の如し淸酒二千二百十七石醬油六千七百三十石味噌十五萬八千六百貫麵類一萬五百貫蠟燭五十萬斤醯八千萬斤麥粉五萬七千三百貫目、水飴十五萬千四十貫目、果實類五萬八千貫、硝子類二萬五千貫目、淸涼飲料水一萬千四百打にして之が總計價格は五百四十七萬千九百八十一圓にして平均一品の一年產額は五十三萬九千百餘圓に相當し居れりと ▲二汽船入港 十七日午前中に外海航路船大福山丸及び久蒲川多丸の二隻入港したるが荷役すみ次第出帆の筈なりと

大田

▲山林測量 大田郡山林測量は近々實地著手の筈なるが鮮人試驗を爲したる後著手の筈なれば早くも今月廿日後ならんと ▲院長出發 先日來田せし花田公州法院長は十七日午後零時三十分發にて沃川に向ふ ▲協會例會 大田實業協會にては十六日例會を開催し先般役員會にて協議せし各事項に對し協議する所ありたり ▲御救恤金 去る六月十三日以來降雨猛襲の爲め南鮮各地被害尠なからざる旨天聽に達し畏こくも御救恤金を下賜され忠淸南道も又其恩惠に浴し各地被害者に應じ配布せしが大田郡は四十六圓九十一錢にて是れが惠與に浴するものは郡中新灘津の居住者なりと

群山

▲水產校新築 群山簡易水產學校敎室は普通學校々舍內に併置しありしが群山本町海岸二百九十七坪の敷地をトし八月中旬地揚工事に著手し引續き總建坪三十二坪の校舍新築中なりしが來る二十五日迄に落成の豫定にて隣接地には四百五十九坪の養魚池を設備する等水產校として殆ど間然する處なからしむべく桑島校長は來る三十日官民有志を招待し盛大なる落成式を舉行すべしと ▲於靑島鰯漁 於靑島鰯漁業に付朝鮮水產組合全羅北道支部井上技手の談を聞くに同島の鰯漁撈期間は每年六月上旬より十月上旬の間にありて實に於靑島は全羅北道唯一の鰯漁場にして同島に鮮人鰯漁船二十六隻鰯地引網船二隻在りて各船約八人の漁夫乘組一隻一日の漁撈に從事せば優に五擔以上を獲る由にて本年は一斗四十錢の相場にて漁獲物は總て同島在住內地人煮干製造業者十五戶ありて之を買收し煮干製造原料となり年產額約一萬圓ありと

光州

▲棉作と降雨被害 漸く霽れたりと見ゆる天候は又も十四日夜より雨となりたるが爲め本道農作物殊に棉作の被害は最も甚だしきものあり八月末の收穫豫想反當り三割を減じ居たるに九月上旬を雨害にて一割を減じ又もや今回の雨にて一割を減ずるに至れば約反當りは半作なり全體の上に於ても一割以上の減收を見んか ▲棉花共同販賣期 來る十月六日より本道各郡棉花共同販賣所に於ては愈々共同販賣を開始すべく昨年は十月三日開始せし由なれば約三日遲れにて各繰棉工場の買收指定區域も昨年より大部分變更せられたりと ▲土地調查委員會 本道麗水、光州、求禮、光陽、和順五郡の土地調查委員會は十五日より開始されたり ▲光州繁榮研究會 光州官民有志者は光州に繁榮會の設立なきを遺憾とし近く鈴木署長松田管理者等發起となり之が創立を爲す筈なりと ▲浦野警務部長巡閱 浦野本道警務部長は十八日出發木浦及び濟州兩警察署の巡閱を爲すべし ▲角張主任書記辭任 光州郡主任書記角張四平氏は著任以來令名ありたるが今回病氣の故を以て辭任したるより十五日西村樓にて官民合同送別會を開催したり

釜山

▲西部電鐵工事 朝鮮瓦電の西部電鐵工事は竣成せるを以て其筋にては鐵道局技師の來釜を待ち十六日延長全部に對し檢查試運轉をなしたるが線路につきては何等故障なきも工事後の線路及道路の平均復舊し居らざるを以て一般通行に支障あるのみならず規定の如く道路復舊の上開通すべしと ▲賣品館と三線連絡 十五日午後釜山商業會議所にては役員會を開會せしが賣品館の處分に關する件は曩に同問題の起るや各道に特產品卽賣所の設置につき各道廳各會社各製造所其他鮮內特產品販賣者に對し照會する處ありたるも代金の受渡し物品の保護監督等につき種々なる面倒の申込あるを以て之等希望を滿足せしむる事を得ず會議所としても經費の點につき到底不可能なるを以て中止する事に決し矢張從前の如く收入財源を得る方法を以て市民の爲め市中央なるを好都合なりとて模範的日用食料品市場を經營せんと協議一決し府當局の意見を確めたる上實行すべしと次に三線連絡運賃問題に關する件は鐵道院、鐵道局の方針通り實施するや否とは釜山港に取ては大影響あるを以て此際釜山商業會議所にては飽迄も三線連絡問題を實施されん事を希望するの意志を表示すると共に大池會頭の名義を以て東上中の寺內總督に向け電請すると同時に山縣政務總監にも電請せり ▲虎疫豫防訓示 既報の如く釜山警察署長は數日に涉り各外來集合の宿屋料理飲食店の如き營業者に對し虎列拉病につき種々防疫心得を訓示したるが十六日は恰度土曜日にて繁所の藝娼妓の檢查日につき機を利用して午後三時より署長自ら健康診斷所に出張し樓主及び藝娼妓に對し虎疫豫防衞生に付種々訓示をなせり ▲下士集會所へ寄附 鎭海要塞司令部にては今回下士集會所の新設せるを以て當地大池香椎の兩氏及び釜山愛國婦人會にては建築費の一部へ各金百圓宛を寄附せり ▲宇都宮視察團 既報の如く宇都宮商業會議所主催たる滿鮮視察團は十七日午前連絡船にて來釜の筈なるが釜山商業會議所樓上に於て茶菓の饗應をなし市內各所の視察をなし午後十一時列車にて北行の筈

人事消息

▲脇村正七氏(神戶三井物產社員) 十七日午前退京
▲遠藤大三郎(同) 同上
▲宮田英俊氏(新任金浦郡庶務主任) 十七日午前出發赴任
▲前田昇氏(慶南警務部長) 十六日午前釜山上陸歸任

□溫陽より　大塊

一 明日湖南へ出發の筈に有之候尤も途中實況左に　一九月十五日一

稻實る風に垂る穗の首重し
豐穰の民や白衣の神樂唄

二 本日出發湖南へ　一九月十六日一

礎石碑石語る由緖や秋の聲
豐年や雀の聲も賑はしき

溫陽溫泉の繪葉書に

地は溫陽山川優美秋の聲

□大塊庵にて　一象

鬼死今宵の月に化粧せり
月今宵秋の命を摘きけり

(十四日の本紙に[illegible]とせしは誤り)

元山讀者に謹告

元山支局長 鹽谷鬼子四郎

右は本社詰を命じ去る三月以降勤務致居候に付同地通信事務は通信員として北川一を置き之を取扱はしめ候

九月十六日　京城日報社

●輪城平野を横斷して
清會鐵道試乗―輪城河の大鐵橋

◆十三日午前八時半浦項洞停車場を發する富寧迄の試乗に招かれて建設事務所へと輕鐵臺車を急がして事務所に到れば既に發車の用意は整つて組立て許りの客車六輛を聯結した汽關車は勢ひ克く黒烟を吐て居る之れが形に於ける始めての清會鐵道現實なのである

◆建設事務所よりは新田所長、加賀技師、田代副參事其他庶務、技術兩員十數名及び組立技手職工十餘名でプラットホームなしの平場から高いステップに飛び乗ると芬とペンキの香が鼻を衝いて汽車旅行の氣分となり新田所長、加賀技師等と本鐵道の最高客車たる二等列車に腰を卸す間もなく發車したヅン／＼強く小揺ぎさる乗り心地には格りはなかつたが始めてだから

脱線するかも知れぬ

と教唱されたので一同其の時の安藏息奉怪我なくして濟む工夫を凝らして所長に試乗の說明を需むる

◆所長は客車の當事務所に廻送せられたるもの十五輛の内六輛丈け組立が終つたから其の運轉試驗を爲すので此の結果何等故障なくんば組立者側の手を離れて事務所に受領濟となり十一月一日の開業當日迄格納することゝなる後の九輛が出來すれば尚一回の試運轉を爲す豫定である何れも一旦京釜線で使用した古物であるが之を革染車庫から搬入して組立を完了する迄に五萬圓の經費を要する化粧を施せば古物でも斯く新らしく見ゆると語る内汽車は早や輪城平野の一角を横斷して輪城河に近づく四角な窓を扁額として眺むる輪城平野は漸々たる禾穀粟は黄に稗は黒く豆は緑に一眺毛氈を展開したるが如く

遂に清津灣の蒼海と南雪嶺の秀峰を望む

◆輪城河畔にては暫時停車して目下架設中の鐵筋コンクリート橋脚作業を見る既に成るものは楕圓形の白色大ピラー巨象の如く河中に横はる總計三十二柱を以て同河を足り其の工將に半である汽車は假橋を渡り十五萬円歩北咸唯一の大停車場たる將來を有する輪城停車場を横斷するに右方護岸の長堤蜿蜒と竣工せるを見る沿道の各部落を過ぐる毎に白衣の人皆驚異の瞳して眺むる始めて客車の通過を見るが爲めであらう

◆我が汽車の長驅鳩岩隧道を貫きて實興に達せるは十時五分前浦項洞停車場を發してより一時間を過ぎず一時間

十四五哩の速度を以

て疾走しつゝあるのに更に動搖を感ぜず至極乗り心地良く試乗の成績を訊せば所長は先づ上乗富寧にて客車保温のスチーム管に送湯試驗に故障なくば完璧と云ふ

◆富寧に着せるは十時四十分一同下車して市中を一巡する城内の整然たるに反して城外の索然たるは工事中心撤去後の殘骨と認められる（清津）

●乃木神社 寶物觀覽

乃木神社の寶物は十三日陳列を終り十四日より一般の觀覽に供したるが品目左の如し（大阪特電）

△桐花大綬章△大將の禮裝（上下）△大將禮服△旅順招魂祭々文草稿△同祭典に於ける自詠和歌△旅順、面見聯圖△大將辭世△大將招魂文△大將、希典兩公△同首服△大將の肖像軸△遺愛の鏡△大將遺品水盃△大將より寺内伯に贈れる大刀並に短刀△無名傳來大和國住[illegible]住國行刀其他刀數振△大將夫妻の木像△野武士の圖（岩佐又兵衛筆）△軍刀（延壽國綱作）兜及び面頰（傳來明珍作）△[illegible]卷物△大迫物騎者装具大將父十郎作）△其他數点

●大連埠頭で 生果販賣禁止

大連港は傳染病流行地にあらざれば生果の販賣には何等制限なきも目下定期船内に限り一切生果の販賣は勿論食用を禁じあるに拘らず大連港出帆の際は埠頭に於て販賣せしめ旅客の假別等に贈るものあり萬一之れが爲め下痢症に罹らんか碇泊時間の短かき門司に於て嚴重なる檢疫を受け多數旅客の迷惑を惹起すべければ商船定期船出帆日に限り同販賣を差止められたき希望を有し居れり或は生果中特種のものに限り禁止さるゝならん（大連）

●馬賊を取逃す

過日長春警察署にて馬賊二名を逮捕し罪狀明白なるため支那官憲に引渡したるを受領の爲め來りたる支那警偵は護送の途中東斜街南廣場附近にて一名の賊を取り逃がし追跡の爲め威嚇射擊を爲す等の騷ぎを演じたりしが後にて探査すれば逃亡したる馬賊は曹騎兵團長の部下なる事判明せり支那密偵は曹の密命を帶びて長春警務署に來り態と途中に彼れを逃さんが爲め繩も掛けず馬車に乗せたるより警務署にては捕繩を貸與せんと言ひたるも夫れに及ばずとて足袋の紐を解き之れにて兩腕を輕く縛し以て途中より逃亡せしめたりとの噂あり（長春）

●我が憲兵に應援を請ふ
茂山對岸の支那兵馬賊に襲はる

本月八日茂山對岸約七里を距る間島領部落に馬賊約七十名襲來し民家を掠奪せんとしたるより村民は大に驚き早速茂山より二里なる困洞支那守備隊に急告し同隊より三十餘名の兵士之が討伐に向ひしに同日午後官兵と馬賊は玉石洞に於て衝突し互に砲火を交へて戰鬪せしに馬賊七十に對し官兵三十名内外の事とて衆寡敵せず官兵不利なりしもの如く九日早朝困洞守備隊より一使者我が茂山分隊に來り以上の顛末を語り局子街陶道尹へ電話にて右の報告を爲し援兵を乞ふ旨懇願せるより分隊にても其手配を爲し道りたるに道尹より頭道溝守備隊を援兵として討伐に赴かしむる旨の返答を得て使者は間島に歸りたりと因に襲馬賊は白頭山附近安圖縣への通路各所を扼し剽盜を爲しつゝある馬賊二百餘名の一部なるべしとの說あり（清津）

□奇妙なる支那の社會改良者

吉林國民黨の志士張[illegible]更に支那現代の人心腐敗せるを慨し、宣教師の如く手に丁字形の木板を持ちて之れを掲げ[illegible]は恐くは滿足し得るものに非ず、我が心に慊らざる事をなすべしと論せる布教の要項を掲げ、各省を巡廻傳道に從事中なるが、其主意に曰く一、大局に着眼する事二、不屈をして[illegible]からしむる事三、共同して前面目なる事四、事を作すに信を以てする事五、人を待つに誠を以てする事。簡なるが熱狂熱の盛んなる支那に於いては珍とするに足る、寫眞は其漢說の日我社の求めに應じ撮影せるものなり

北京いろいろ

二 番香玉（ワンシャンユイ）

『彼れが娼妓ですよ。一體姑娘と云ふのは普通の娘の事ですけど娼妓にもそう云ひますね。北京の遊客は非常に勢ひがあつて大臣の邸にでも何でも堂々と入り込んで行きますよ』――案内のＫさんが指す方を見ると、躑々として天に冲した翠柏の並木の下を三五人の支那婦人が嚶々の語を交はし乍らやつて來る。滿人の婦人服とは遂ふが矢れとて別に普通の支那婦人と何處が遂つてゐるのか旅の眼には差別もないもの、そう言はれて見れば何處となく

□**風姿に婀娜**たる處があらうとくもある。前な分けたりしたのもあり皆一樣に根が低く束ねた髪には純白の生花が挿してゐる。黝み立つた上着の色も濃く裳裾はスカートの樣な陥著きがある『彼の花は番香玉（ワンシャンユイ）と云ふんです、がれ非常に香が高いのです。今頃ですと誰も彼も皆彼の花を挿してゐます大抵な人の髪間には支那燒の花瓶に此花が挿されてあります。北京の北京には無くてはならぬ花なのです』

□**遊歩場として** 紫禁城天安門の西側に在る元の社稷壇の跡を民國四年解放して中央公園と稱し獨逸人の設計に基き新たに植樹、[illegible]に取入れて運動場、茶館、球房等を倣し北京唯一の遊歩場となつてゐる――其一端を歩いてゐたのである――

□**椅子に掛り** んだが、見れば旅の目には物珍らしさが總て隨伴して一樹一木にも薫しさが添へられ老柏の根方に荷を下した生花賣等の中に交つて[illegible]生花賣りの老翁にさへ一瞥のみでは去り難い親しみが湧く、流石文學の國丈けあつて此邊園の一小亭の柱に頁きへ『予與言日溫故而知新敦厚以崇禮』だとか『民移之日玄冑不變毅武將不惜死』などと名句玉聯を配してある『彼れ等の茶館を顧みれば支那風と洋風とを取混ぜた樣な一風の建物の軒近く卓に據つて新聞を擴げ治國論をしてゐる連中がある其一隅に陣取て『茶です、此飲料は[illegible]』牛肉茶と云ふんですが、茶にスープを入れた樣なもので非常に新しいんです。晚方に成ると北京の中流以上の男女は相携へて大抵此處にやつて來るんですよ。だから晚方此處に來さへすれば大抵の人には會へますれ』其の連中が別に飲みたくなくても先づ一杯の牛肉茶を喫ませると『ニューローチャ』牛肉茶が飲まないものは[illegible]。

□**ハイカラと** 言はれるかも知れやしない。――古い陳列場に行つて見ませう』と立ち上つて並木の彼方に消え去つた、[illegible]

●京城へ 若し惡疫が來ても
準備は整つてる―豫防注射の用意

釜山に愈々眞正の虎列拉が同時に二人まで發生したるを以て京城に於ても夫れ／＼豫防方法を講じ居れるが京城府にては順化院内の一廓に虎列拉患者隔離室の設備を爲し目下の處十人位は收容し得べき用意を爲し居れるが猶總督府醫院には豫防注射の希望者に對しては何時にても注射をなすとの事なれば愈々京城へ虎疫侵入の際は豫防注射を受けて置く方が安全なるべし

●五千圓の寄附

黄海道載寧鐵山鑛主西崎鶴太郎氏は載寧公衆衛生改善の爲め載寧公衆衛生改善のため今回五千圓を寄附したるを以て載寧衛生組合に於ては五千圓の内三千圓を病舍の新築費に殘り二千圓は同病院の維持費に充つる事とせり病舍の建坪は六十坪にして既に工事に着手十月中旬迄に落成の筈而して同病舍は避病患者を普通病者を併せて收容する目的にて公衆病院と稱する由（鎮南浦）

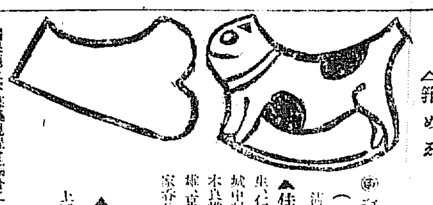
讀者文藝（一等には五十錢の書籍券を呈す）

△[illegible]

◎おもちや

（一等）　清州　曲里九マ

▲佳作　京城龍川生、仁川松本直一、京城中村春菁、京城 玉木貞雄、京城 井上國雄、京城敏子、龍山山家谷公、仁川塚本生



▲次回題　上圖の通り

（圖題及び募集規程は欄外にあり）

●脱監兇賊逮捕

八月二十三日北海道網走監獄にて看守三名を斬殺し脱監せし兇漢瀬戸口仁三郎は爾來其の行方を晦まし居たるが遂に十三日朝十勝國中川郡オッヨチにて逮捕されたり（札幌）

●軍需品 倉庫出火

十五日午後三時浦鹽斯徳埠頭軍需品倉庫又復出火し約三時間にして鎮火せるが非常の混雜にて損害多大の見込なり（浦汐特電）

●内地各地の虎疫

十五日午前警務總監部に來電せる内地各地の虎疫流行狀況左の如し

◇奈良縣　山邊郡一名疑似虎疫發生眞症と決定し北葛城郡に一名眞症患者決定す

◇神奈川縣　横濱市南區[illegible]眞症と決定し[illegible]橘樹郡大師河原村一疑似發生し足柄郡の疑似三名は眞症と決定す

◇千葉縣　安房郡鴨川町五千葉町津田沼町一東葛飾郡浦安町二及び夷隅郡勝浦町寄港の東京灣汽船會社東灣丸船員疑似コレラと決定し行徳町に隔離者一發生せり

◇熊本縣　天草郡、熊本市に三名コレラ患者發生せり

●渡満農民團來る

京畿道長湍郡農民六十八名は十六日午後入京直ちに水原に赴き同地模範場を見學の上午後四時發列車にて金村へ向け出發せり

◆罪の芽ものがたり (3)
▽不良少年の研究

内地人の不良少年には色情に關する誘惑を受け諸君の無分別から遊びに浮れ浪者となつたものや中等程度の學生であつて素行不良の爲め

◆**退學を** 命ぜられた者、官廳銀行會社工場などの給仕に雇はれ居る中に友人の惡感化に染み込み罪を犯して其筋の厄介となつたものなどが多い、是等は孰れも家庭の監督が行届かないのと誘惑の

◆**魔の手** に捕はれた結果である、悉ういふ不良少年は時々少女を挑み、又は墮落女子と狎れ合つて淫蕩遊蕩に耽溺するのが常である曾つて仁川から京城に流れ込んだ十四歳の少年があつた此の少年は十四歳であつて早くも仁川で興行中の女輕業師と懇意を通じ無斷家出して京城に

◆**潜伏中** を突き止められて實家に引戻されたが前後五回家出した果迄に自宅に歸らず朝鮮人の不良少年團に投じたが内地人だけに忽ち頭領利きになり多數の配下をさへ隨へてゐた、又是れも仁川から京城に流れ込んだ十九歳の女、花盜かしい娘盜りでありながら自分から好んで曖昧屋に身を沈め相當に蓄してゐる

◆**實家を** 棄てゝ獣のやうな荒くれ男の生血を吸ひ其の皮を剥ぐことを唯一の樂しみにしてゐた女もあつた不良少年の常業として内鮮人を問はず小泥棒が專門である其の方法としては明巣覗ひ搔つ浚ひ源氏追（車の後押しの風を裝ひ車上の物を窃取する）天蓋引（針金の鈎などを持ちて干物荒しをなす者）忍び込みて泥棒を働く者

◆**他人の** 使なりと稱して品物を騙取する者、或は萬引をする者などが多い、又色情に關する罪、傷害などの罪を犯すものもある、總じて不良少年は不正古物行商と結託して窃取した贓物を古物商に買つて貰ふ、此の古物商を裝ふものも頗る油斷の出來ない

◆**曲者で** ある人影さへ見れなかつたら何でも手當り次第掻つ浚つて風のやうに消ねて行き、贓物と知りつゝ故買し一日五十錢位の資本を以て不良少年の贓物を買ひ占め暴利を貪つてゐる、併かし此の手蹟は見附かつたら直ちに檢擧されてゐるが檢擧處罰の出來ないのは前記

◆**十四歳** 未滿の不良少年で之れを救濟し處分するが焦眉の問題であるといふことは既に官憲でも認めてゐる試ろみに京城本町警察署で昨年七月から本年六月末迄に檢擧した不良少年の數及び其犯罪名を聞くに朝鮮人大約百八十名内地人百名であつたが此他に未檢擧のものが尠くない、犯罪行爲としては

◆**内鮮人** を通じ窃盜が最も多くその内百八十八名は卽ち夫れである、倘鍾路警察署でも昨今七月から本年六月迄に約百名の不良少年を檢擧してゐる

●仁川に疑似患者發生

仁川府内加平里に十六日午前十一時頃より朝鮮人二名激烈なる吐瀉をなし十七日死亡し尚外里にも朝鮮人一名吐瀉をなし生命危篤なるが何れも疑似虎列拉の疑あり仁川警察署にては朝來署員總出にて發生地區の隔離豫防に忙殺され居れり

●殺鼠劑試驗　仁川檢疫所よ[illegible]

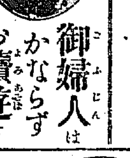
●[illegible]留者　十四日午後[illegible]

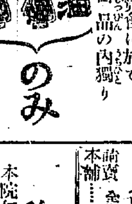
[illegible]

●課題及募集規程

□募集規程　▲用紙は端書又は半紙の洋紙一枚毎に紙名の雅號又は姓名の外に住所氏名明記の事▲應募は一[illegible]

天氣　晴れ一時曇り　▲九月十八日[illegible]



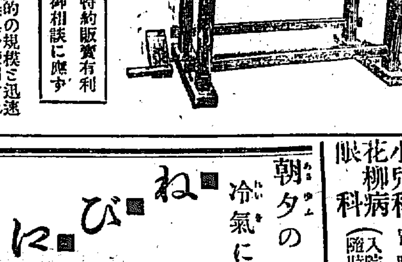


秋の胃病
赤痢、コレラの黴菌も強壯なる胃液の酸液に逢へば忽ち滅殺せらるゝから胃を强壯にして置くが何よりの豫防法で之が醫學者の言ふ胃液の殺菌力である、然るに秋は日中暑くして朝夕涼しく氣候の變動甚だしき處へ夏の間に弱りたる胃は胃液の作用も不十分で兎角胃腸病が多いから何をせずとも健胃の用心が肝要で其れには五大軍醫合議製劑の胃活……善は急げ、今直ぐに

定價（胃活錠）[illegible]（胃活）[illegible]
發賣 全國及海外要所の各藥店にあり
本舗 東京…大阪…山田安民藥房

移轉廣告
本院仁川分院儀仁川本町三丁目四番地（井上藤吉商店下）ニ移轉從前ノ通リ治療ニ從事ス
九月十日
野田齒科醫院

俵裝改良と農家副業の良機
專賣特許 國益製繩機（特許細太自在機附）
（今秋の大改良）



現代の農業は世界的の規模と迅速を要し不完全なる農具を使用すれば必ず失敗するや論を俟たず理想的完全無缺の良機を得んと欲せば先づ當會製作品の說明書を見られよ御申越次第直に送呈
製造發賣元 東京上野停車場前 内外農蠶器商會 電話下谷三七二 振替東京四五八

福音
成功之鋒は男女とも理想尙の望み叶ふ妙理なり本月は祖師日蓮上人鎌倉龍の口御首切御難に當る祖師供養の爲め信仰の深き方に施す遠慮なく申込まれ但し郵送料二錢を要す
東京市牛込區通寺町三三 妙法行者

星印ソース
いづれの御家庭にてもソースは星印を御使用です
全國到る處の洋酒罐詰食料雜貨店にあり
星印は品質及賣行に於てソース界の明星なり
發賣元 大阪市 祭原伊太郎

見よ！最新收益大普通販賣事業出づ 郵券入申込次第案内書呈す 京本郷千駄木町二七五 友翁堂

山田醫院 本町二丁目四十五 電話一二八〇番
内科 小兒科 呼吸器病專門 胃腸病 山田萬作
花柳病科 眼科 （入院隨時） 尾形周太郎

朝夕の冷氣に ねびえを 御用心あれ

小兒の解熱新藥 コドモのねびえには オイン に限る 定價十錢・二十錢・三十錢
大人のねびえ又はかぜねつには……蛇印アンチピリン丸 スグ服用あれ確に効あり 價十錢 廿五錢 五十錢・全國各藥店に有り
本舗 大阪心齋橋 東京銀座 丹平商會藥房

●連絡船上陸客 [illegible]
入港さくら丸二等客（十五名）鎌田裕樸、小川儀長、加藤雄、桂光
一等（五名）菅沼根人、外人四名　二等（十五名）柳本朝光、同八千代、油谷益三、瓶一、同よし、同正、同節、同均、同稚子、鳥居齊
十五日午前對馬丸より停留者　金甚箕、佐々木啓介、同さき、伊藤鋳郎、魚谷與平、野口きさの、同正衛、矢野定之進、山田定治
[illegible] 市吉、黒澤清太郎、城上政藏、引田新造、折笠正、八村義雄二、市川榮造、馬渕清一郎、中村茂太

◉虎疫について 汽車の衛生

△生水を飲むな辨當に注意

◇釜山にコレラが來たといふので神經質の人々は戰々恟々として居るやうだが此の際食事に周到の注意をすれば左まで恐るゝをはない

◇無論恐るべきコレラに對しては誰れも萬全の策をとらねばならぬが此の際汽車で旅行する人は詰らぬことにピク〳〵せず唯だ食物に注意すべきである

◇先づ腹工合の惡い人は旅行に耐へ得るや否やを自分で判斷するより醫師に相談するが良い

◇また店晒しの果實などを携げ廻るのも考へものである惡い果實の爲めに發病せぬとも限らぬ

◇車中の飲料はなるべく茶若くは湯にして欲しい、猶ほ食堂には生物を食べぬ事、また酒の壜詰は冷酒よりも燗をして飲むで貰ひたい

婦人界消息

○松原關敎總長歸京　兼て南鮮地方の巡錫中なりし京城西本願寺松原總長は十七日夜南大門著列車にて歸京の筈

△石原夫人（南大門小學校長夫人）令息俊雄さんの病氣の爲め久しく總督府醫院へ入院中のところ追々全快の爲め歸宅されました

△石川せい子（石川高等法院判事夫人）近々東京へ赴むかるゝ豫定

◉櫻楓會例會　女子大學卒業生の櫻楓會は十八日午後一時より九月の例會を催し會員相互の親睦を圖る由會場は京城大和町一丁目三四（警務總監部の前）朝鮮電氣會社木本支配人のお宅（電話一五六四）

神社とお寺と教會

○西本願寺（若草町）十七日午後八時より日曜講演あり又同夜は明如上人の御逮夜につき森山、脇中兩氏の說教及び講話あり

○東本願寺（南山町）十七日午後七時信友會あり

○開敎院（本町三丁目）十七日午後一時より婦人會の幹事會を行ひたり

○曹洞宗別院（若草町）十八日午後二時より婦人敬愛會あり信心銘の講話あり猶ほ午後八時より觀音講あり

お休日記

△始めて蟬がないた　南大門小學校尋六　阿部貴美子

○七月二十二日（土）晴　朝庭先を掃いて後、勉强をし、自分の部屋の掃除をした。『何かする事は無いか』とばあやに聞くと、『あなたのするやうな事は無いですね』と言ふ。『張物をさせて頂戴』と言ふと、『糊つけからなさい』と言ふので糊つけを先にして、次に張物をした。張物は大好きなので喜んでした。『上手です』と賞められて嬉しかつた。午後御祖母樣と、御姉樣は御出掛になつたので、其の跡の御召物を片附けたり御座敷の御掃除したりして居ると、御父樣が『ひらい働き出したな』と笑ひながら、おつしやつた。夕方御風呂に入つて、一日の汗を流し、弟や妹達と、散歩がてらに、門の横に迄出かけて居るおうちを見に行くと、森先生が御寳になつていらつしつて『涼風はもう立つた』と、やさしく御聞きになつて下さつた。今日は窓頭から蟬が鳴いた。今年になつて始めて蟬の聲を聞いたので『蟬が鳴いた〳〵』と言つて私共は喜んでゐたら、ばあやは『蟬が鳴いたから、今日からは暑くなるのです』と言つて居たが、その夕方はまだ涼しかつた

△悲しい鐘の音　南大門小學校尋五　飯泉喜美

○七月三十日（日）晴、今日は明治天皇祭で御座います。外に出て見ますと、朝風に國旗のひらめいてゐるも、なんとなく物さびしう御座いました。日が暮れると、お寺の鐘もいつになくかなしく鳴り、家々の國旗も、次第に夕やみに消えて行きます。夜はみんなと一しよに、明治天皇のお話をなして、九時に蚊帳をつりました。

△暑いので困ります　南大門小學校尋四　加藤道子

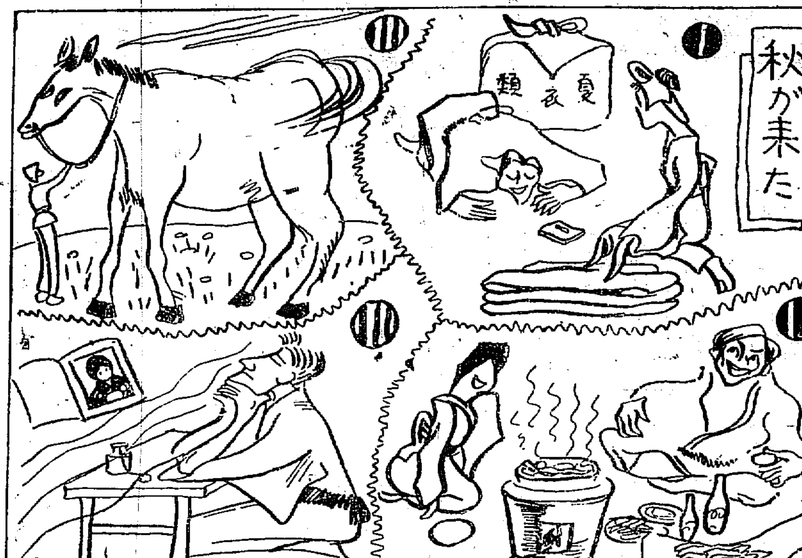
○八月廿五日　晴　朝目をさますと、六時がなりました。空は一面に晴れて、まるで海のやうにありました。もうすぐ學校へゆくやうになりますから、朝早くごはんをいたゞいて、涼しいうちにおさらひをしました。おさらひがすんでから弟をつれて、友だちのうちにあそびにゆきました。毎日々々あつい日ばかりつゞくので大さうこまります。涼しくなるのを皆々たのしみにまつてゐるのでありませう。あまりにあついので、おひるはうちであそびました。夕方は涼しくなつたから、おふろをつかつて夕ごはんをいたゞいてから京城日ぼう社の前でたくさんのお友だちと、いつしよに色々なことをしてあそびました。うちへかへたのは八時ごろでありました。うちでも少しあそんで九時半にとこにつきました。

△今日から學校へ　南大門小學校尋三　芳賀喜美子

○八月二日（水）晴（おきた時五時半（ねた時九時十分）今日は學校へ出る日ですから、よろこんでいつもよりはやくおきました。ひさしぶりで。井上先生におめにかゝり、おともだちにも、おあひして、ほんとうにうれしくありました。かへつてから、夕方の五時ごろ、おさらひをしてゐたら、お兄さまが『なかなかおせいが出ます』と、ほめてくださいました。夜、吉木のおぢさんがおみえになつて、おもしろいお話をなされて、かへられました。（一日一善うゑ木の水かけ、おてつだひ）

△おめでたい　南大門小學校尋三　赤阪卓太

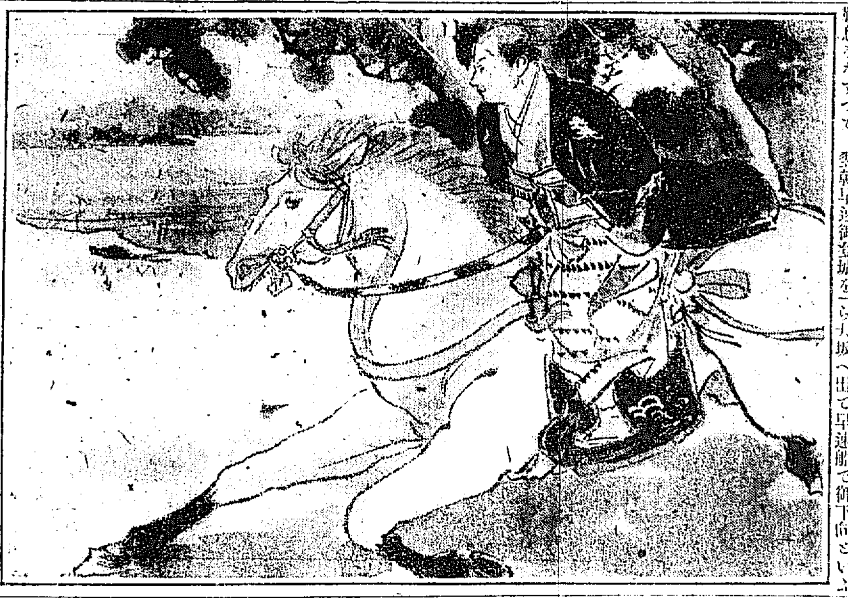
○八月三十一日（土）晴　今日は天長せつでおめでたい。その上、僕のうちには、おめでたいことがあつた。また僕たちがねむつてゐるうちから『オギヤー〳〵』と、あかんぼうのなきごゑがするので、おきて見るとあかんぼうが、うまれてゐた。僕は、あかんぼうが、男か女かと思つて、きいたら女だとおつしやつた。僕は弟が一人でいもうとがなかつたが今日からいもうとも出來て、何だかうれしかつた。おとうさんも、よろこんで『今日はめでたい日だ。天長せつにうまれたから、せつ子とつけようかな』と、おつしやつた。



□秋が來た　（一）朝晩の風が浴衣の袂に冷やりして來ると質屋の番頭さんが藝者の巣へ御用な伺ひに出る季節となる、質屋の方でも持入れ時、藝者の方でも持入れ時、双方の立合の呼吸は日支交渉以上に手が細かい。（二）コレラが流行るので、刺身は困るし、鮨のものは困るし、何うせ甘い酒は暫く飲めないとあきらめてゐると時なる哉風涼しく久しぶりですきやきの試旗、日曜な細君相手にチビリ〳〵。（三）天高くして馬メキ〳〵と肥ゆ奏息も駢いので、新參の馬乘先生、新調のコールテンのヅボンの手前、梯子でもかけて乘らうかと思案迹へ首。（四）時正に燈火親しむ可し、下宿樓上机によつて洩み消ぐの候――何時の間にか活字が消にて故郷の許嫁の顔がニコ〳〵

宮本武藏

第百六十二回　桃川如燕口演　浪上義三郎速記



柳生但馬守が是を聞て　但『コレ〳〵侍、副將は誰殿か伺ひましたるか』侍『イエ内膳殿お一人にございます』といふ、柳生殿がお顏の色がサッと變つた　但『ナニ板倉殿一人…其れは容易ならん事だ、馬を借用いたしたうござる』と仙臺家から一頭の駿馬を借りて之へ打乘りまして、一鞭當てゝ柳生但馬、眞一文字に東海道へ乘立つて川崎まで追驅けたが遂々合はない、仕方がないから屋敷へ歸つたが歎息をなすつて、翌朝早速御登城をなされ三代將軍家光公へ御目通りをいたして　但『恐れながら此度の一揆は一ト通りでございません、水戸殿大事を取らせられたは御尤もに存じまする、其を板倉内膳一人にて下向いたさせるとは其意を得ん事、早々副將をお遣はしにならなければ相成りません』と申上げると三代公が『成程其方の申する處尤もであるが高の知れたる百姓一揆、左様大行に副將杯を遣はすに及ばん』但『恐れながら小火消さゞれば炎々如何になりまするか、御當家の針崎の門徒一揆、或は加賀國富樫之助正親の一揆、近くは織田信長の時、元龜元年より天正七年まで石山本願寺を攻めるといへど戰の度毎に、其頭鬼神を穉せし柴田池田敗軍して、後に朝廷に願ふて和を乞へり、總て宗旨に堅き者皆な死を恐れず百姓一揆とは申すものゝ中には然るべき武士あつて良く計策を巡らすものと見ゐたり、依て内膳正一人にては遣束なし、何卒副將をお遣はしに相成るやう』と申上げましたが、御聞入れがないから但馬守殿も退つたが、但『ア、氣の毒な事だ、何分板倉殿は生ては歸られまいと…』いつて大層嘆かれたといふ事でございます、扨て此方は板倉内膳正京都から大坂へ出て早速船で御下向といふので大坂の御城代阿部備中守へお話しになつて船を借りやうといふ處が、兵庫、西の宮、堺などといふ港に大きな船が少しもない、トいふのは當時加賀國小松にお在で遊そばす小松中納言利常といふ中興加州家の三代目の御名君で、多ほくの御家來を日本六十餘州へ穩密を出してお置きなさる、されば其の人達が入替り立替り小松へ參りまして申上げまする、何處の國には斯ういふ事がございました、云々の事がありましたといつては申上げる、其を御自分が細かに書取てお置き遊ばす、居ながらにして日本國中の事は常に御存じで在つしやる、之を加賀の見る目加賀鼻といつた、處へ九州へ出して置いた者が立歸つて、天草に一揆が起つた事を申上げた、利常公が之をお聞き遊ばし、是は容易ならん一揆が起つた、此際元の殘黨が桶籠つたに違ひないと思召したから、ソコで俄かに江戸本郷六丁目の加賀のお上屋敷の今までのお屋敷を一時に毀して、御出入町人木屋藤右衞門といふ者に申附けて、上方にございまする木材石材悉く買入れまして之を江戸表へ船で運込いたしまする、其れがために木屋藤右衞門が上方の船は殘らず借切つて終つて、ドン〳〵其を品川沖へ積込んで、品川から本郷六丁目へ引込みますまで多くの役人從いて、赤い采配を振つて、木遣りでございまして、石の石材木を車に積んでノン〳〵ノン〳〵引出しましたが、イヤ手間の取れるといつたら一日に一丁か二丁位ゐ、夜に入ると其所へは高張を立つて多くの加賀の御家來方が町家の人足大勢と共の周圍を取卷いて石材木の番をする市中の賑やかの何のといつて、加賀のお屋敷へは高張を點けて役人方が晝夜の辨へなく、什麼も賑やかなこと大變でございます、市中の町人膽を消したのは是が何だといふと、當時は太閤取立の大名がビシ〳〵と取潰しになつて、浪人といふものが多いの多くないの至る所は浪人で鼻を聞へるやうで、牛込の由井民部などといふ者は大名のやうな暮しをして居る、其外丸橋忠彌、柴田三郎兵衞などゝいふ有名な者がある、天草一揆が此の浪人と通じて、此時江戸表に一大事が出來いたさんやも知れずといふ、夫を加賀の利常公が御悟りになつたから態と市中の要所々々へ御家來方を配置をして云はず語らず警戒をなしたものでございます

遊漁具 投網　四分目長二十五尋網目九百匁付極上麻糸製七圓五十錢　テグス系代用アヤ糸製六圓五十錢　其他目の大小網の長短種々有之候
投網製造　其他漁具　釣道具販賣　京城永樂町二丁目　小賣商　吉備商會　監獄署製品販賣所　地方特約店募集

九月十九日　九星
舊八月廿二日　己丑
水命　二黒　坤　開　火　安

▲二黒　[illegible]　▲三碧　[illegible]　▲四緑　[illegible]　▲五黄　[illegible]　▲六白　[illegible]　▲七赤　[illegible]　▲八白　[illegible]　▲九紫　[illegible]　▲一白　[illegible]

演藝案内

有樂館　本町一丁目　電話二六六　日本活動寫眞株式會社特約　[illegible]

黄金館　電話二八五二（階上）二六三七（階下）　吉田奈良雀　吉田浪子嬢　探偵橘秀雄　小栗判官　[illegible]

浪花館の女義太夫　今晩の物語は林之助最も十八番の内
お俊傳兵衞　連夜好評猿廻しの段

大正館　櫻井町　電話八七三　日本活動株式會社朝鮮代理店　[illegible]

浪花館　明治町　電話二六〇一　大阪女義太夫一座　竹本林之助一行來
八日目十七日物出　御祝儀賓の入船（竹本入登）△妹背山の段（林廣）△艶娘昔八丈鈴ケ森の段（住子）△太功記十段目尼ケ崎の段（は井）△白石噺七つ目揚屋の段（林玉）△卅三間堂棟由來平太郎住家の段（久子）△玉藻前三段目道春館の段（廣治）△三かつ半七酒屋の段　△近頃河原達引太夫お俊傳兵衞猿廻しの段（林之助）三味線（東馬鶴）ツレ引（竹本久子）
◎晴雨に論せず毎夜正六時より開演仕候

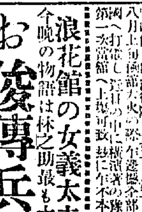
御成座　御成町　電話一九一一　革新派中村榮一行
第八十九回替狂言（九月十八日）五月物語　全十一場
[illegible]

內科　胃腸病　診察夜九時迄　京城本町一丁目　石川醫院　電話一三七一、九三〇番

廣島名產　山まゆ織　冬物品揃　廣島市平田屋町　山脇喜久二商店　[illegible]

◎眼鏡新荷著廣告　正金張　三種　米國製　純ニッケル　一種　獨乙　逸品　凸玉サック付　甲三圓五十錢　乙三圓　丙二圓五十錢
●地方より御註文の節は直ちに代金引替にて御送附申上候　但し郵送無料に限り
京城本町一丁目（郵便局前）中村時計店眼鏡部　電話一七〇七番

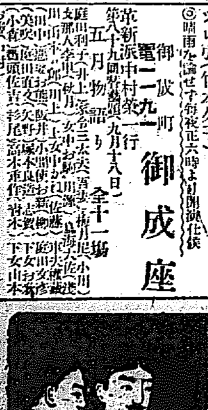
天然スレート　極寒ニ耐久力强大　瓦ヨリ輕量ニシテ建築材料ヲ節約シ得
東京市京橋區木挽町五丁目三番地　合資會社仙臺スレート商會東京出張所　電話新橋一四五七番
本店仙臺　採掘場陸前登米　出張所　大阪北區中ノ島六丁目七五


京城本町三丁目　吉田學明　人事百般鑑定需應す　鑑定料銀相五十錢　鑑定時間自午前九時至午後十時　大日本陰陽學會朝鮮支部

資本金　貳千百五拾萬圓　積立金　九百六拾五萬圓
株式會社第一銀行京城支店　京城本町二丁目（振替貯金京城一一番）頭取　佐々木勇之助
銀行一般の業務は確實を旨とし精々御便利に取扱申候　内地朝鮮並に歐米樞要の地に爲替取引先有之候

明治公債株式會社朝鮮支店　▲外務社員募集　京城府東拓會社隣　電話一九〇八番（振替京城二五五〇番）

かつけ病者に告ぐ　東京地方裁判所に登錄を受く　かつけふうじ　京城大和町一丁目十番地　京城出張所　委しきは電話千三番へ御照會


堀井謄寫版　堀井を冠せるもの斯界の白眉なり　粗惡なる模造品に迷はさるゝ勿れ
京城南大門通三丁目（堀井）謄寫堂京城出張所　電話四一〇二番　振替口座京城一〇五八番

汽車

ライオン歯磨

ライオン歯磨は何故良いか

第一 ライオン歯磨は成分の粉末が非常に細かい。

ライオン歯磨ほど粉末の細かい歯磨は絶對に他に無い。これはライオン歯磨本舗の責任と自信とを以つて斷言する所である。然らば粉末の細かい歯磨は何故良いかと申すに、歯の衛生を心得て、朝夕食後に、一日少なくとも三度宛歯磨を使用するに於ては、是非共粉末の最も細かいものを選擇しなければならない。さうしないと幾ら堅固な歯の表面（琺瑯質）でも磨耗してしまふからである。（一度磨耗症に罹ると取返しがつかない。）

第二 ライオン歯磨の原料は充分吟味してある。

ライオン歯磨ほど原料を吟味する歯磨は他に無い。之も各種歯磨の顯微鏡的比較檢査の結果、確實なる憑據に於て斷言するのである。事實、ライオン歯磨本舗には専門技師並に歯科醫師の最良歯磨原料と認めたものを採擇するのに、あらゆる繊細の注意と、苛酷と思惟される程の試驗を施してゐる始末である。

第三 ライオン歯磨の調合は最も學理的である。

ライオン歯磨を使用するには、完全なライオン歯磨本舗製造の「萬歳」歯刷子を必要とするが、然もライオン歯磨は最も學理的に調合してあるから、唯其粉末が口腔歯牙に觸るれば、いつでも化學的、物理的の微妙な作用を呈して、自ら消掃・防腐・殺菌・制酸・收斂の諸効を全うする特長があるのである。

第四 ライオン歯磨の成分は最も均整してゐる。

これはライオン歯磨本舗獨得の製造機械の完全と多年養ひ來つた技術上の熟錬とを示したもので、二つ共に他の容易に模倣すべからざる長所である。言ふ迄もなくライオン歯磨原料、香料、藥品等、成分の合理的均整は取りも直さず製品の完全を意味し、随つて効果の的確を保證するものである。試みに如何なる實驗をも致されよ。これはライオン歯磨の獨創して他に誇り得る一長所である。

第五 ライオン歯磨は大人にも子供にも適してゐる。

ライオン歯磨は化學的作用を注意すると同時に、神經の過敏な婦人小兒の歯牙口腔に觸れても決して惡い刺戟の起らないやうに、歯觸り舌觸り及び香や色さへも悉く好い感じのするやうに精製してある。だから歯磨を使ふ良習慣を附けるにも、又始中終此良習慣を守つて行くにも、ライオン歯磨ほど理想的なものはない。（序に言ふが歯磨の色素は別段歯に影響はないのだから、清新輕快な感じを與へるライオン歯磨の朱鷺色は正に理想的のものである。）

第六 ライオン歯磨は趣味高尚で實用的である。

ライオン歯磨の品質は原料の嚴撰、製法の忠實親切、其他些細の點に至るまで充分の用意を盡くしてあるから、如何なる上流の家庭に入るとも貴人の使用に供へらるゝとも、必ず相應はしい調和を見るのである。さりとてライオン歯磨は飽くまで衛生實用の見地を離れないから、聊の毛程も虚飾的な分子はなく、常に米の飯と同様一般向に使用されるのである。だからライオン歯磨は趣味高尚で實用的と謂ふべく、其日夕の使用は國民の經濟と衛生とを一擧に得しめるものである。

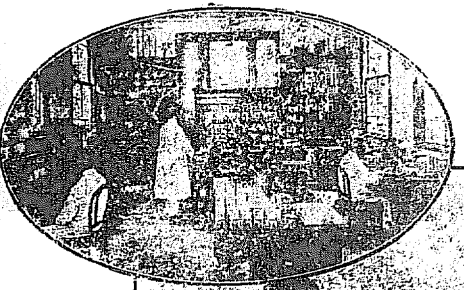
第七 ライオン歯磨は歯科醫諸君公認の歯磨である。

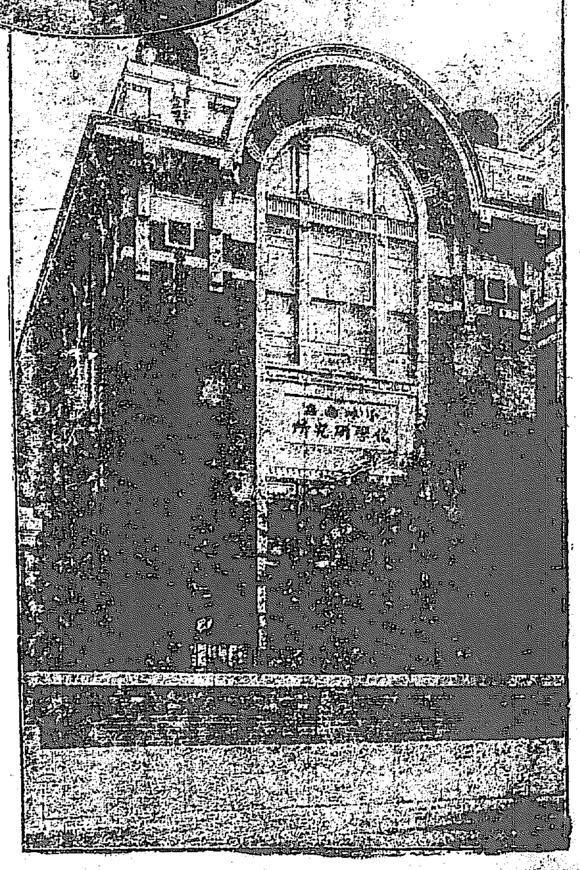
ライオン歯磨は二十有五年の長い經驗に於て種種なる試みを盡し、種種なる研究を遂げ、常に歐米最新の學説を採用することを怠らず、又常に歯科醫界の權威に質すことを忘れず、原料に、配劑に、苟も改良の施すべき餘地ある時は直ちに猛進して改良し、刷新し、理想的にし、模範的にし、遂に今日全國歯科醫諸君の賞讃し推薦せらるゝ國産唯一の純良歯磨となつたのである。

第八 ライオン歯磨は信用販路共に世界的である。

ライオン歯磨には既に品質の純良あり、價格の一般的實用的なるあり、其結果として信用は世界的に博大となり、販路は世界的に廣大となつて、内地販賣額は最高位を占め、同時に輸出額は最高率を示してゐるのである。それは内外各地の展覧會部や公平無私なる大藏省主税局の調査に照らしても明白なる所の事實である。

以上の特色は其唯一つを以てしても、他に誇り得る所である。それは、何故かと申すに、第一ライオン歯磨には二十有五年の世界の進歩に平行して來た種種なる經驗がある。第二ライオン歯磨には、模範工場及び化學研究所の機械的完備と歯科醫師、藥學士、工學士、藥劑士、其他當局技師技手を揃へた實力新知識とがある。斯う云ふ歴史と設備と實力とがあつて、ここに初めて完全無缺のライオン歯磨が製造され、ますます各位の愛顧と滿足とを贏ちつつあるは、小店一同の限無き感謝を捧ぐる所である。





本舗 東京 小林富次郎

京城日報 第三版
十八日朝刊（夕刊と合せて八頁）
發行所 京城太平通一丁目 京城日報社
發行兼編輯人 小川三之介
印刷人 奥田直毅

…を傳へ更に首相ツアイミスの辭職を觀取するに難からず…は今日まで幾多…外交の逐…
戰亂以來希臘は云ふ迄もなし開戰當時ブエネゼロ…紛雜の聯合國…スは國論を率ひて聯合側に傾き今にも希臘は躊躇するが如く傳へらる…
希臘國民をして一種の反感を抱かしめたる一事は最も主なる原因なりとす由來希臘の外交政策は常に勃牙利に對し戰々兢々たるものありしなり…事の前途を案ぜんと日夜戰々兢々…つゝあるにつけ希臘は常に勃の動靜…
如何にして勃以上の兵力並に人口を在すべきかとは希臘の今猶夢寐にも忘るゝ能はざる問題なり先づ差し…にして而も最も賢なる政策は唯亞細亞土耳其に於て領土を得、以て茲に勃以上の兵力並に人口を併有するにあ…と全然背馳す希が亞細亞土耳其に領有せんと欲する地域は云ふ迄もなく自國の對岸なるスミルナを中心とし…
然るに伊太利の參戰條件として一はアルバニヤ他はエーデンアンスポラデス群島の大半を要求したる也

財界時言（九月十七日）

三線問題に對する大連と奉天の矛盾

○三線聯絡運賃問題は今や帝都に於て大問題となり、素と經濟中心の問題が、餘程政治的色彩を加へ來りて更に一段人目を惹きつゝあり。滿鐵當局の主張と、大連有志の運動とは之に對する鐵道院並に鮮鐵側の強硬なる態度と共に、此の問題をして灼熱せしめつゝあり。其結果として如何なる溶解物が現出すべきや、未だ豫知し難しと雖も、此の問題は必ずや地方的利害を超越せる國家的利害の熔鑛爐の中に於て還元せらるゝに至るべきは吾人の信じて疑はざる所なり。要は唯だ大連側の主張と鮮鐵鐵道院側の主張とが、其の國家利害の觀點より、理非果して孰れにありやの決定さるゝに於て、吾人は常に道理の前には服從せざるを得ざる也。○三線問題の提唱論議せらるゝや、頑者大連方面の一部人士或は一部言論機關は、口を極て朝鮮鐵道並に鐵道院を惡罵し更に帝國の朝鮮統治の大方針にまで漫罵を浴せ掛つゝあり。地方的利害の前に地方的感情の高潮に達するは有り勝ちの事乍ら、假令一部者の間とは雖も、我が堂々たる世界的海港たる大連人士の裡に、非紳士的なる誣言妄語の大聲叱呼さるゝは、餘りに大人氣なき沙汰ならずや。噪狂動もすれば沈著に制せらる。正理は飽くまでも正理たるの強味を有す。若し大連側の主張にして飽くまでも公正なりとせば、何處までも沈著に、堂々論爭するは可なり。然れども由來經濟上の利害を同じうする事多き陸接の鮮滿間に、惡感情の溝渠を掘るが如きは最も愼まざる可らず。朝鮮は滿洲の敵に非ず、朝鮮亦何ぞ滿洲を敵とせむや。吾人は識見あり品位ある大連の人士が、單に一大連港の利害にのみ自己の眼界を局限することなく、朝鮮と滿洲との切り離し難き大局の利害關係を國家的見地より省察し、以て今日の論を爲すとせば之を奬勵し之を歡迎す。若し然らずして飽くまでも大連本位より總てを割り出し、より大なるものを犧牲とするも辭せずとするに於ては、吾人は之に耳を藉すの必要を認めざるも、斯くの如くんば轉て滿洲内に於てすら地方的利害問題の紛糾せむことを憂ふ。現に奉天に於ける居留民は、最近此の問題の現狀に鑑み、三線聯絡運賃は滿蒙貿易發展上適切なる政策なることを滿蒙各地居留民の齊しく認むる所にして、大連居留民の反對運動は大連市民の輿論に非ずして、大阪商船及び二三特殊商人の利害より起りたるものなり、斯る少數者の運動に動かさるゝ事なく、是非共原案通り改正實行するに至らむ事を其筋に陳情せりと云ふに非ずや。此陳情の當否は姑く論せず既に此事あるを見ても、大連方面に於て提唱せらるゝものが、滿洲全體を代表せる輿論に非ざるを知るべきにあらずや。吾人は大連人士の謂ふ所と、奉天人士の謂ふ所と、其の孰れを是とせざる可らざるか。願くば滿洲に於ける滿蒙經營論に二個或は其れ以上の焦點を現出せしむる勿れ

觀光外客招致策私見(一)

——經濟調査會の研究問題——

朝鮮ホテル支配人 猪原貞雄

日本に觀光外客を招致する爲めに更に如何なる施設設備をなすべきかは我が經濟調査會に於て特に研究せられたるが猪原氏も亦當業者の一人として其の意見を同調査會に提出する所あり、茲に同氏の意見を紹介すべし

現時歐洲戰亂の影響を受けた我國は國內諸種の製造工業が興り、從前の輸入超過は今や一變して莫大なる輸出超過を來たし、非常な好景氣となつたのは頗る慶ぶべき事であるが、此現今の好景氣が果して戰亂後も繼續するや否やは識者の今から一考を要するところであると思ふ。

假りに私などが考へても、平和恢復後の歐洲列強は何れも皆多年の創痍を癒すべく、從來軍需品製造に使用した工場を以て商品の製造に當てるだろふと思はれるから、日本の商工業は蓋し非常な壓迫を蒙る事と覺悟しなければならぬ。日本に外國の正貨を流入せしむる事、それは種々あるべきが、最も我々の採る可きとするところは、外客の招致に若くはなかろうと思ふ。此の事は既に日露戰爭後に於て我國の識者間に唱說せられた意見であつて、其の後此の目的の爲めにホテルの建設改造論が行はれ、海陸運輸の連絡が試みられたにも拘はらず、日露戰役後一時盛なりし外人來遊客は却つて減退する傾向を示した。現に戰後一躍世界の一等國となり、且つまた世界の公園とも呼ばるゝ程の日本の國に此の現象のあるは頗る不思議の感じもするが、其の原因を尋ぬると不思議でも何でもなく、詰り日本に外人を優待するホテル及びホテルの設備を缺いだ事に起因する。第二には日本の物價が戰後著しく騰貴した爲めに、歐洲大陸に比し不廉であること、第三には日本の商人が外人と見れば暴利を貪る傾向のあること、第四に外人案內業者の惡習慣が外人に不快の感を與へたこと等も與つて力あるのであるが、又一般外人もこんな事から購買力を減じたるものと思はれる。斯樣た次第であるからして、今後歐洲戰亂の終局後は、我日本に如何にして外人を招致すべきか——日露戰後議論されて實行されなかつた外客招致策——私も少々意見を述べて見やうと思ふ。

幸ひ私は內地で私設會社のホテルを建設經營し、後ち朝鮮に於ては官營ホテルの經營に當つたので、此の問題を腹藏なく述べるには最も適當な立場に在るかと思ふ。

萬里の長城

明の十三陵

鐵 楚 桂

一足でも假寓を出るのには案內者が要ると云ふ旅の身であり乍ら是非萬里の長城を見て來たいと云ふ氣を起したのが抑もの誤りで支那語の判る案內者を見付ける迄には幾人もの知人に迷惑をかけ愈々北京を去らねばならぬ日程の最後の二日を犧牲にして九月七日早起西直門の停車場に車を驅つた。西堂子胡同の假寓を出て例の蟹の樣に兩腕を張つて足にあはぬ木履をポコ／＼と音立て乍ら驅る支那車で西直門の停車場に著いたのは一時間の後。汽車は八時四十分發。此鐵道は支那政府唯一の國有鐵道京綏鐵道で北京の西端西直門を起點として張河口を經て大同迄延び目下頻りに大同綏遠城間の工事中に屬する。

京奉線に英語が要り津浦線北斷に獨逸語が要り京漢線に佛蘭西語が要るのに京綏線は何もいらぬ——いや支那語丈けより外何語も役に立たないのである

京綏線は一日一回宛北京張河口間直通列車の往復があり一週に一回北京綏遠城間を直通往復する。後者には寢臺車を有し頭等車を聯結してゐるが、前者及び其他の區間列車は皆二三等の混合車なのだ。其混合車に、青い三等票を買つて乗り込む。票には「中華國有鐵路京綏線」「即日可用逾限作廢」と左右に書き中央に價洋陸角と記してある。洋陸角と云ふのは六十錢の事で貨金六十錢と云ふ處なのだが其の六十錢は銀貨の六十錢で銅貨だと十一角（一角）に十二三枚を拂ねばならぬ。其數が時と處で變動してゐるから仲々鳥渡には飲み込む事が出來ないので會計は一切Ｉさんにやつて貰ふ。其會計さんの會計袋は護謨の濕手拭を入れる袋で其中に五元餘りの銅貨が入れてあるのだ。記し遲れたが僕等の行程は北京と張河口の殆んど中間にある南口迄行き其處から先づ明の十三陵を一瞥して當日は南口に引返へし一泊の上明朝更に北行青龍橋驛に下車し八達嶺に登り萬里の長城の一端に立つて遙に北の方蒙古を望み秦の始皇の鴻業を偲ばふと云ふ豫定なのだ

間も無く發車と云ふ時間にドヤ／＼と僕等の客車に入り込んで來た四五人連れがある。砂色の洋服に金釦で一樣に同じ色のヘルメット式帽を被つてゐる。無論日本人だ。然も其で最初は何者かと思つたが直ぐに其れが上海の同文書院の學生だと判つた。旅は道連れ直に妥協成立して一行七人一團をなす事と成る。日本人と云へば勿論僕等一行のみだ。處が僕等の部屋には支那人が一人も入つて來ない。…に遠慮したものだと思つたが後で氣が付くと「婦人房」としてあつた。知らぬが佛、七人は婦人房で大威張りの旅を續ける。

再築落成號發行

昨年十一月本社不慮祝融の厄に遭ひたるも十萬愛讀者諸君の爲に倍々奮鬪努力平常の眷顧に酬ゐんとし今日に及びたるが其間同人の精勵と江湖の贊襄とに依り直に再築に着手したる新屋も愈々旬日ならずして落成を告げ太平街頭巨然として前日の雄姿を現すに至らんとするは洵に欣慶に堪へざる所也されば今回聊か自祝の意を表する爲め來る十月一日より十日間再築落成號を發行し更に一層紙面の體裁記事の精選報道の迅速正確を期し以て江湖の愛顧に酬ゐんとす是れ同人の微衷に外ならざる也敢て再築落成を報じ併せて倍々江湖の御同情を冀ふ 敬白

大正五年九月 日 京城日報社

日報詩壇

○新蟬 高井 梧堂
霧來古樹白雲荒。樹上鳴蟬聽得新。橋…彼報秋聲又熱。恰好有意喋吟頻。
評曰 第三句警語

○寄海印寺僧 安永 春雨
世海茫茫心印微。梵王宮裏絕塵機。經函貝葉閑文字。唯見空山獨鳥飛。
評曰 言有微旨、隱約之間見之

○新蟬 西田 白陰
不堪十丈旋炎塵。樹上蟬聲飛得新。向此中彈一曲。變紐和韻於神。
評曰 詩亦清韻繚繞

○月下臥舟 笹島 紫峰
一葉扁舟蘆荻灣。清風明月異塵寰。來儀揭疎蓬臥。夢與白鷗青鷺閒。
評曰 風韻淡遠

○題觀瀑圖 安永 春雨
天決銀河水。白龍下碧空。千山有餘響。吸萬古聲盤盤。雲藏霧氣王氣紫。日射大珠小珠紅。巖花香迸奇禽語。杯三百與未窮。鬼筆揮遠人間淚。使我坐圖中。可憐枕流投淵者。淚愛屈孝又忘忠。
評曰 前八句勇往邁進、有不可羈東之概。結處亦奇想。

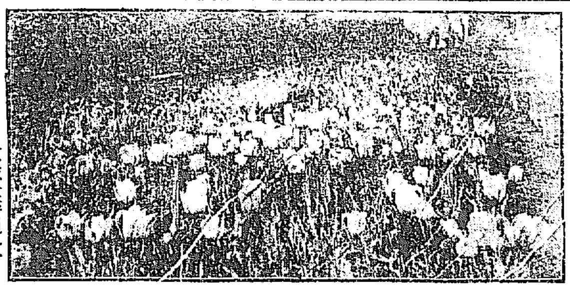
山縣五十雄 村上唯吉 共著 富の道しるべ 定價十五錢 郵税二錢 京城太平通 振替二〇〇番 京城日報社代理部

中學講義錄

中學全科を自宅にて完全に獨習せんとする人に最適せるは大日本國民中學會發行の中學講義錄也之は朝野の諸名士及三大臣の贊辭を受け今の高田文部大臣の推賞を辱うせり
大日本國民中學會發行中學講義錄は監修委員文學博士…理學博士…學力を授け講述懇切平易何人も一讀解し得べく閑に就て學ぶことを得
大日本國民中學會卒業生は都下三大學各專門部特科に無試驗入學の特權を有するのみならず成績優良者には學資を貸與し高等專門の學校に入らしめ更に成績ある者は海外に留學せしむ
◎第十六回新學期開講 際入會者に奬學資金提供の大特典あり此好機を逸せず至急申込あれ見本つき規則書は東京市神田區駿河臺大日本國民中學會へ申込次第直に無代進呈す

東京高等師範學校 佐々木先生賛助 ◎森田但山伯監士筆
教育畫報 新幼年
◎十月號出來 ◎本號附錄活動フイルム
本號より東京高等師範學校先生の面白き有益のお伽噺を掲載す……
東京東兩國 新幼年社 振替三〇八五
一冊十二錢送料五厘 六冊前金六十九錢

日本一パイン万年ペン
◎目錄申越次第進呈◎參圓八拾錢より（最新婦人用あり）
修理部（如何なる大破損も即時修繕）京城旭町二の六 東京植松出張所

園藝カタログ秋季號 無代進呈（往復葉書にて御申込あれ）

▲秋蒔の種子は此から播下し秋植の球根類は此から植込むのです
▲草花蔬菜觀葉植物の種子苗類が總て網羅して有ます一目瞭然です
▲各種に亙りて培養法が親切に記述して有ます故に培養書ともなる
▲各種を網羅販其他の企劃版で明瞭に現してある清楚たる美本です
▲各種とも新種と模範種とを選拔してあります實に園藝家の指針です
▲來春の花壇を賑はし家庭の樂天地を作るには是非此のカタログが必要です（上圖は本部大苗作所のチユーリツプ）
東京京橋區日吉町 國民新聞勸業部
京城太平通一丁目 京城日報代理部 電話六六〇番 振替京城三〇〇番

日韓書房 新版報吉
大町桂月著 八犬傳物語 定價九十五錢 送料十錢
田山花袋著 時は過ぎゆく 定價壹圓二十錢 送料十二錢
五十嵐力著 新文章講話 縮刷 定價壹圓二十錢 送料八錢
金子薫園著 散文集 自然と愛 定價五十錢 送料六錢
山之井鍊治著 鮮文普通文官應試提要 定價七十錢 送料八錢
京城本町二丁目 電話朝鮮一〇五五 振替口座一一五

唐箕、万石、扱摺、臼、箕、鎌
及各種農具其他養蠶器具、機械、肥料、種苗 廉價販賣
京城南大門外 電話四〇三番 振替口座京城三七八番 朝鮮勸農株式會社販賣部

惡疫流行の恐あり 殺菌消毒 アルボースの使用を怠るべからず
◎にせものあり扇橋製藥株式會社の文字に御注意を乞ふ

全國各書店雜誌取次店
画入 小學新報
美しい十月號出來
一冊あればお家中のお樂み兄さんも妹さんも安くて品が良いから大喜び尋常二三年のお子様方のお慰みに大評判の懸賞彩色ヱハガキや校歌集等
一冊八錢（郵税五厘）半年（六冊）五十錢
東京・中澁谷 小學新報社 振替口座東京二九四四一番

大阪屋號書店 京城本町 電話六八四 振替京城二五七三
實用計算法秘傳 同 五〇
新らしい手數いらぬ珠算の秘訣 佐々木政吉 五〇
將棋百戰百勝 川井房卿 五〇
手工と圖案 五五
自然と愛 金子薫園 五五
鬼の面 谷崎潤一郎 八五
安價營養食物の研究 伊藤三上 六五
世間學 浪六 九五
漢方調劑自療寶典 富士川游他 五〇
修養處世實業立身傳 永田 五〇
此の如き邦文は如何に英譯する 山川作治郎 六五
潜艇奇襲大英國の危機 宮家譯 七五
朝鮮と金鑛 町田操作 一〇〇
朝鮮鑛業要覽 朝鮮鑛業研究會 一二〇
生死透明禪と武士道 桜尾賢宗 一〇〇
樗牛全集第六卷 日記及消息 姉崎・笹川 一五〇
副業養鷄法 仁部、千葉 七五
關領東印度事情 外務省通商局 一八〇
南文和漢 大日本史論贊集完 川井巴水 二五〇
牛 岡本米藏 一〇〇
教授案を主としたる學年別各科教授法 第一學年 松井敦 村松羽敦 八〇
漢和大辭典 古川喜九郎 二五〇

新刊書御案內
運轉手 同小學卒以上五十 自働車に限る今は現今需要と收入の最も多い都會に海外に大成功を成すに
成迄の希望者に獨習方法の雜誌無代贈呈す
東京市京橋區南紺屋町 發動機協會

[illegible]堂書店 京城本町二 電話一二六六番 振替京城二四五四番
新刊圖書御案內
書名	著者	定價
動物學講義	石川千代松	三五〇
情話叢書第一輯	淺原米子	四五
南進策と小笠原群島	山田毅一	一二〇
漢文讀本	山井幹六	六五
時は過ぎゆく	田山花袋	一二〇
牛（鳴天覧）	岡本米藏	一〇〇
乃木大將	山路愛山	八五
朝鮮語學捷徑	佐藤榮藏	五〇
英和中辭典	井上十吉	二三〇
綴方新教授法の原理	駒村五味	一三〇
朝鮮鑛業要覽	朝鮮鑛業研究會	一二〇
朝鮮鐵道旅行案內	朝鮮鐵道局	七〇
民法總論前編	鳩山一郎	六〇
物權法前編	横田秀雄	六〇
行政法全二冊	島村他三郎	一二〇
海商法論全二冊	市村富久	一一〇
保險法論	栗津清亮	六〇
手形法論	須賀喜三郎	六〇
商法總論	志田鉀太郎	六〇

◎陳總長の交渉忌避

第三次日支交渉は主として事實に關する討議を爲し餘り本問題に立ち入らざりしが陳代理外交總長は成る可く此の交渉を避け唐紹儀に讓らんとするの意あり爲めに交渉は案外進捗せず（北京特電）

◎聯合國今後の覺悟

佛首相の宣言＝兩國の宣戰と聯軍

佛國首相ブリアン氏は議會開會の宣言に於て議會休會中に起りし二大事件即ち伊太利の對獨宣戰及び羅馬尼の對墺宣戰に言及し述べて曰く是等の出來事は聯合軍の神聖なる努力に對し精神上及び實際上更に新らしき力を添ゆるものにして之れに依りて吾人の勝利を一層速かならしむるを得ん聯合國は今や其の努力の總てを結合せしめたり此の密接なる結合の結果は戰局上際立ちたる進展を遂げ獨逸側諸國は遂に守勢に立つの已むなきに至り且つ其の戰鬪力は最初に比して著しく衰へたりと喝破し次で東方戰線の戰況に關し我等の固き結合に依りサロニカにある諸軍は之れが使命を完全に果し終らんと説き更に國民は餘りに樂觀的なるべからず敵は猶其の勢力を失はず最後迄之れが防禦に奮鬪するならん彼等の屈從は今後何回も打撃を加ふる事に依りて之れを實現するを得べし而して之が成果を完成する迄には猶幾多の困苦と鬪はざるべからず國民全體の一致協同こそ此の場合最も緊要なり一致協同は吾人の目的を完成する唯一の道なり目的とは何ぞ勝利に終る平和及び適當なる國際的申合せに依り將來確固にして永續すべき平和の保障されん事即ち之なり（巴里電報）

◎英通信員の激戰觀測

在巴里倫敦タイムス通信員の報道に據ればバツシヤウエスネの占領は七月上旬佛軍の右翼が西部戰場に現存せし獨軍防禦地を初めて突破せるものと解するを得べしされど獨軍は其の戰線の後方數哩の處に塹壕を築きつゝあれば更に激戰行はるべきは疑ふべくもあらず（倫敦電報）

◎塞軍力戰勃軍敗北

倫敦來電に曰く勃牙利軍追撃を續行中なる塞耳維軍は一週間に亙れる戰鬪の後塞耳維國境を越えて勃軍を撃破し砲二十九門を鹵獲し多數の捕虜を獲たり（紐育電報）

◎伊軍攻撃陣地占領

羅馬來電に曰く伊太利軍は十五日トウエスト方面に對して新に攻撃を開始し若干の重要陣地を占領し捕虜二千名を獲たり（紐育電報）

◎飛機投彈

英軍飛行機の一隊は十六日朝オステンド附近に在る敵の重砲隊を襲撃し之に爆彈を投じて成功を收めたり（紐育電報）

◎獨損害高

ソンム及びヴエルダンに於ける七月一日以來の獨軍損害中には大砲二百六十門機關砲六百四十七門及び捕虜五萬四千名をも含み居れり（倫敦電報）

◎黄海々戰記念

十七日は明治二十七、八年戰役に於ける黄海々戰々捷の記念日に相當するを以て築地水交社には正午より東郷、井上兩元帥、片岡、伊集院、出羽の各軍事參議官、加藤海相、島村軍令部長以下三百名の海軍武官參集し順次構内の水交神社に參拜し終つて食堂を開き席上感慨深き懷舊談あり午後二時より漸次散會せり（東京特電）

◎憲法と清室優待

目下北京政界に於ける最大問題は憲法案にて民黨の主張する官吏民選及び地方官制を憲法に訂入するに就きては北洋派の督軍等は一齊に反對を試み段總理は猶自重して形勢を觀つゝあるが議員內に於ても最も有勢の憲法研究會、最近結社の憲法商榷會及び有名なる憲法討論會等に分かれて互に意見を異にして容易ならざる風潮を現はしつゝあるが唯議會政府共に異議なかる可きは清室優待問題にて目下世續氏は清室を代表して政府と商議しつゝあるが何れ政府より憲法會議に移牒し該優待條件を憲法內に訂入することとなるべしと（北京）

◎上旬仁川檢米

本月上半期中に米穀檢查所にて檢查 [illegible] すれば檢查米總數十四萬八千五十叺中優等米二萬零九十七叺上格一萬 [illegible] 降の累計は總數千三百零六叺中上格 [illegible] 三十八叺下格千二百五十一叺不合格 [illegible]

[illegible] 要地としては大阪にして同地のみに [illegible] ご本年一月より八月迄の送米數 [illegible]

[illegible] 運輸物係にて京元線に依り發送し或は京元線より到着する主要貨物は發 [illegible] きは秋季なりと云ふが仁川驛より昨大正四年度中に京元線へ向け發送せし食鹽の數は六千五百九十二噸にて [illegible] 松浪十四噸、治浦四十四噸、商山五百四十四噸、元山千四百六十二噸なり（仁川）

[illegible]

◎米作實收高

四年は千百三十七萬餘石

大正四年の米作實收高は水陸稻を合し總計千百二十六萬九千二百六十二石にして之れを未曾有の豐作たりし前年の實收高千二百十五萬九千八十石に比すれば八十八萬九千八百餘石の減少なりし旨は當局の發表當時本紙の報道したる如くなるが其の後一二道內に於て計算の相違ありしを發見訂正の結果大正四年度中の實收高は一千百三十七萬三千九百六十二石にして前掲實收高に比し更に十萬四千七百石の增加を見前年に比すれば七十八萬五千百餘石の減收に過ぎざることゝなれり其の詳細は大正五年米作豫想高と同時に發表せらる可し

◎土地調査豫算

大正六年度に於ける臨時土地調査局の豫算は要求額百六十萬圓本年度の繰越し百三十四萬圓內外乃ち約三百萬圓にして之れを最盛時たりし大正五年度の豫算額五百三十萬圓に比すれば事業の進行に伴ふ人員の減少並に經費の減少等により百三十餘萬圓を減少せりと

◎古蹟保護修繕

大正三年度を以て一般的實査を終了せる古蹟調査事業は大正四年度に入り更に慶尙北道慶州郡迎日郡、慶尙南道蔚山郡、忠淸南道論山郡扶餘郡公州郡等各地に亙りて前年來の調査を完成す可き補充調査を遂行し蒐集の考古資料は之を總督府に保藏したり而して調査の結果古代の建造物中多年の星霜を經て破壞甚しく偉麗美觀を永遠に保存する能はずと認めたるものに對しては破壞の程度と物件の品位等級とを考量して逐次修理を爲すことゝし同年度に於ては一萬四千百九十餘圓の經費を支出修理を施したり其の主なる官有建造物は京城東大門、高陽郡、碧蹄館、平壤大同門及び練光亭、江西並に龍岡郡の古墳、安邊獨鶴樓、釜山彌勒塔、江陵客舍、晉州矗石樓、安東七重塔外二塔、北靑南門、慶州鮑石亭にして又た特別保護の必要ある寺刹の建造物碑石等中應急修理を要するものと認めたる安邊郡の釋王寺護持門大雄殿、江華郡の傳燈寺、大雄殿、並に慶州の石窟庵石窟に對しては九千八百餘圓を補助修繕したり

◎畓田追次增加

總督府最近の調査に依るに鮮內の耕地面積は大正四年十二月末日現計に於て畓百十七萬七千五百二十三町九反步田百九十九萬三千七十九町三反步合計三百十七萬六百十町二反步を算し之れを前年末現在に比すれば畓に於て八萬八千二百十町一反步田に於て十二萬三千二百四十一町三反步合計二十一萬一千四百五十一町四反步を增加せり而して耕地面積增加の原因は土地調査の結了に伴ひ統計の改訂を爲したるものを主とし之れに次ぐは反別計算の基礎と爲せる斗落又は日耕の換算率變更に負ふものなるも土地改良及び開墾に依る增加亦少からず今耕地面積累計對照表を示せば左の如し

年次	畓	田	町計
明治四十二年	[illegible]	[illegible]	[illegible]
同四十三年	[illegible]	[illegible]	[illegible]
同四十四年	[illegible]	[illegible]	[illegible]
大正元年	[illegible]	[illegible]	[illegible]
大正二年	[illegible]	[illegible]	[illegible]
大正三年	[illegible]	[illegible]	[illegible]
大正四年	[illegible]	[illegible]	[illegible]

◎葛蔓皮の利用

葛蔓は朝鮮到る所の山野に簇生し其の樹木の生育を妨害する事大方ならず之れが採取は植林上より見るも忽諸に附すべからざる事の由なるが該葛蔓の皮の利用內地に於て行はれつゝありとの事に付東拓技師の調査せし所を聞くに葛蔓の利用は靜岡縣を以て最とし隣縣に之れあり同地方にては皮を剝ぎ取りて繊維とし之れにて葛布を織り輸出品としては大井並に襖の上張り其他又內地向には襖尾布團夏衣洋服等に用ゐ靜岡のみにて約十七八萬圓の年產あり最近は大田方面に於て葛蔓の採取製織を開始せりと云ふが該葛布の需要は愛ふ可らざるものゝ如きに付朝鮮にても本製織を具體的に調査して著手するか若くは葛蔓皮の繊維を採り之れを內地本場に特約送附するは相當の廢物利用策にて利益あるべく又一方より云へば該葛蔓の除去は朝鮮植林上欣ぶべき事に屬するに付東拓植林山の如き右希望にて葛蔓の採取を希望せらるゝ向きに對しては相當の便宜は講したしと考へ居れり

◎昨年の物價

大體に於て下落の傾向

大正四年中に於ける鮮內の物價は之れを前年に比するに稍低落し一高一低あり卽ち歐洲戰亂の影響を蒙れる工業原料の如きは概して異常の騰貴を示せるも前年の豐作は穀類の低落を促し春來の財界不振は被服其の他に多少の影響を蒙らしめたるのみならず經濟界變態の革新は其の傾向に一層顯著にして日用品の價格は漸次內地と均衡を保持せんとするに至れり今同年中の物價中其の主なるものを擧げて之れを前年と對照すれば左の如し

▲外國米　特等十一圓八十五錢にして前年に比し十二錢方の低落なり

▲小麥　上八圓四十錢下七圓六十八錢にして上は二十二錢下は六十錢方の安價なり

▲小豆　上八圓七十四錢下七圓七十五錢を告げ上に於て二圓五十一錢下に於て二圓二十九錢の低落なり

▲玉蜀黍　六圓二十錢にして六十七錢方の下落を示せり

▲荏　七圓十二錢なりしが前年は八圓七十錢を唱へり

▲大麻　上一圓二十四錢下九十錢にて前年に比し十錢內外の低落

▲苧麻　上三圓六十錢下三圓八錢にして前年に比し三十四五錢方騰貴

▲葉煙草　內地種十一圓九十錢在來種十圓六錢にして二十錢內外の騰貴

▲朝鮮牛　牡三十七圓七十八錢牝二十九圓六十六錢にして前年に比し牝牡とも八圓內外の低落を見たり

▲朝鮮馬　中馬三十圓七十錢にして四圓六十七錢方の下落

▲春繭　三十圓九十八錢にして前年に比し六圓二十錢方の下落なり

▲秋繭　二十九圓八十一錢にして二圓六十餘錢の騰貴を見たり

▲紡績糸　單十六手上五十八圓九十九錢にして二十八錢方の低落

▲生絲　上四十三圓二錢下三十一圓八十九錢にして上は四圓四十五錢下は二十八錢の騰貴なり

▲洋金巾　六圓七十三錢にして十七錢方の下落を見たり

▲和金巾　九龍六圓一錢にて七十錢の下落なり

▲日本白木綿　一圓六十三錢にして四十五錢の騰貴を告げたり

▲天竺布　三圓四十一錢にして六十錢方の低落を見たり

▲朝鮮麻布　上三圓六十錢下一圓六十六錢にして上は五十三錢騰貴し下は二十六錢方下落せり

▲支那麻布　大三圓五十三錢小一圓六十七錢にて大は四十六錢騰貴し小は二十七錢方下落す

▲棉花　實棉在來棉九圓二十九錢陸地棉十一圓三十一錢にて在來棉は一圓十三錢陸地棉は四圓九錢の騰貴

▲牛皮　大五十二圓八十二錢中五十圓八十四錢小四十一圓九十五錢にして大は十四圓七十餘錢中は八圓五十餘錢を騰貴し小は一圓四十餘錢を低落せり

▲洋鐵釘　一叺十六圓五十一錢にして八圓二十五錢卽ち倍額の暴騰なり

▲叺及繩　叺は五斗入上三十枚四圓二十五錢下三圓六十錢にして上は三十二錢方下落し下は一錢方騰貴し又繩は十五束一把三圓二十八錢なり

▲和紙　生漉半紙三圓十七錢、美濃大判五圓五十錢にして生漉四錢、美濃は二十錢方の下落なり

▲朝鮮紙　貢物十八圓二十二錢見樣十九圓五錢にて前年に比し大差なし

▲石油　旗印三圓七十四錢を告げ十三錢方の下落

▲石炭　塊炭十一圓五錢にて二圓二十五錢方の下落

▲燐寸　三圓六十錢にして七十餘錢の下落

▲食鹽　一圓十六錢にて五錢方の下落

▲淸酒　菊正宗二十三圓八錢を告げ八九錢方の下落

▲砂糖　四溫百斤十二圓三十錢にて一圓六十錢方の騰貴

▲明太魚　一馱上物二十二圓にして前年に比すれば二圓六錢方の下落

◎納稅貯金組合

八月中に於ける郵便貯金受拂概況を聞くに預入は新規人員二萬六百十五人金額百廿七萬圓にて拂戾しは全拂ひ人員六千人金額百三十五萬五千圓にて結局人員一萬四十人金額二萬圓の增加となり居れるか人員の增加は各道に於て納稅貯金組合の設立を勸誘せる結果なるべく月末現在は內鮮人共に人員金額を前年に比し六分乃至一割九分の增加を示し居れり

◎朝鮮株主激增

朝鮮郵船會社の株主は創立當時僅々五十四名に過ぎざりしが爾來漸次增加して其後大なる增減なく第四期後半期乃ち大正四年十月に於て六十一人に過ぎざりしが爾來海運界は非常の活況を呈し從つて內地株式市場にて從來殆ど認められ來りし其の實價を生じ來りし結果株主中持株を放賣する者漸く多く本年三月末に於て小株主激增し百九十一名乃ち三倍以上に達したるが今期締切期乃ち九月末には二百名を遠く超へ居るべしと云ふ

◎鐵原財界近況

鐵原財界の近狀に付同地殖銀の調査を聞くに同地方に於ける秋蠶の出來榮は頗るよく相場も春蠶と大差なき好況にあり明紬は八月中旬以後兆ながら出荷あるも其の數量僅少に過ぎず價格は上一匹七圓昨年に比し約二割方の高値なり穀類は同地方全く拂底にて停車場倉庫も全く空庫の姿なり尙ほ昨今同國より生牛購入者入り込み其の移出を計るものあるも外商品の荷動きは昨今頗る鈍狀にありと

◎仁川在穀數量

仁川港に於ける九月十五日現在の在庫穀物數量は玄米十二萬九百六十叺白米九百六十六叺小豆二百七叺小麥一萬二千六百五叺胡麻七百九十二叺糯米六百四叺外に百六十九袋及び百三十二俵粉七百三十六叺なりしと（仁川）

◎最近朝鮮在監者

朝鮮各監獄に於ける八月末の在監人員は受刑者九千八百四十二人刑事被告人一千零三十四人勞役場留置者四十一人合計一萬零九百十七人にして之れを前月に比すれば內地人に於て卅九人減せるも朝鮮人は九十九人外人五名を增加せる爲め結局六十五人の增加となり居れり尙右の外乳兒携帶內鮮人二十八人ありと

◎關野博士入京

關野工學博士は十七日夜九時南大門驛着列車にて入京巴城館に投せり

人事消息

▲劉澄氏（支那敎育部員）十七日夜入京奚嗣へ
▲修來元氏（同）同上
▲謝宗陵氏（同）同上

南言北語

故袁世凱氏及び其周圍の連中が帝政の爲め莫大の金を消費した事は事實だが▲未だに其の消費額は區々として一定して居らぬ▲處が最近陳財政總長が行政費、軍事費を除いた純粹の帝政準備費用丈けを勘定したら六億元あつた▲斯くとは知らず財政總長になつた陳氏こそ迷惑千萬で就任した財政部には現金一文もなかつた相な▲例のプレアドネスの餘熱を受けて此頃米國加州で州內防備軍を募集した▲處が何うも應募者の數が思はしくないので今度は河岸を更へて女子軍の編制に取りかゝつた▲イヤ何うも其の[illegible]者つたら大變なものだと云ふ妙な國もあつたものだ▲何だか虎疫もソロ〳〵京城に押し寄せかけて仁川にも疑似患者が飛で出したイヤ飛び出しては大變出來た相な▲が、如何に虎疫だつて無暗に人間に飛び付きも嚙み付きもせぬ餘り神經過敏になつては却て惡い▲衛生を能くして油斷さへなければ幾等來ても大丈夫▲西南戰爭當時內地でも虎疫が非常に流行して戰爭よりも虎疫で死ぬる方が多かつた▲患者は汽船で神戶に送られ大阪鐵嶽に收容されたが船から陸へ移すには鍵で引揚げる將全く鮪の荷揚げでもする樣であつた▲其の又患者の死ぬる事の早いのは驚くべきもので當時の人はトンコロリと云つて居た▲其の譯はトンと來たらコロリと死ぬるからであつた相な▲不行屆の豫防をしつゝ其等患者を取扱つたが其れでも罹病者は少なかつたと或老人は語つて居た▲餘り恐れ過ぎては不可ぬと共に防疫係からの指揮は嚴重に守らねばならぬ▲之は決して人樣の爲ではない皆自身の爲だ。

◎書籍案內◎

時務一家言　德富蘇峰著
政治家としての桂公　同
蘇峰文選　同
大正政局史論　同
獨逸經濟的勢力
獨探
孫子評註
聖敎要義
日本書紀
白隱和尚遺墨集
大將乃木
乃木大將
朝鮮鑛業要覽
酒餅論
月江和尚錄
字考正誤
元田先生進講錄
不如歸　蘆花
世界名婦鑑
歷史の片影
外交奇譚
自然と人生
靑蘆集
靑山白雲
縮刷思出の記
思出の記（上下）
探偵異聞
俳諧師
豐太閤
八軒長屋　村上浪六
同　後編
同　續編
朝鮮名勝詩選

國民叢書　德富猪一郎著

社會と人物
生活と處世
處世小訓
人物偶評
敎育小言
近時政局史論
讀書餘錄
第二天然と人
第三天然と人
日曜講壇
第二日曜講壇
進步乎退步乎
人物管見
靑年と敎育
靜思餘錄
文學斷片
天然と人
第二靜思餘錄
風雲漫錄
家庭小訓
經世小策（上卷）
經世小策（下卷）
單刀直入錄
寸鐵集
文學漫筆
漫興雜記
世間と人間

京城太平通壹丁目　京城日報代理部　振替貯金口座京城三〇〇

廣告

第一號　二分ノ一吋亞鉛引延斯管外寄點
第二號　二分ノ一吋上水栓外三十九點
右購入ス供給希望者ハ九月十八日以後ノ朝鮮總督府官報ヲ見ルヘシ
大正五年九月十八日　京畿道

マラリアに一番ヨクキククスリハ龍山林藥房製劑のマラリア特效丸

◎金拾錢金參拾錢金五拾錢▲郵稅貳錢　ニセモノアリ御注意
本舖　京城本町一丁目　林藥房
代理店　山岸天祐堂

こゑる藥

身體やせて種々療養効なくお困りの方へ郵券三錢封入申込まれ胃腸を健全にし身體肥滿となる妙藥の說明書呈す
東京市麻布區三河臺町一　小川藥院

京日案內

普通一回前金一行三十錢番外一回前金一行六十錢（掲載中止の節は料金返戻せず）

▲外交店員及び手代入用　京城靑葉町三丁目百廿番地　大橋大三郎　240

◎社員及集金人募集　確實なる要保證人希望者は履歷書携帶あれ　大和町一丁目四八朝鮮寫眞通信社　245

▼新案齒科學講義古本三冊金九圓也　京城本町振替二三三ウツボヤ書店　165

◎外務社員數名採用す希望者は履歷書携帶本人來談あれ　京城花園町一二三番地　中央金物新報朝鮮支社

◎松汀里光州間自動車は太田木浦間の凡ての列車に聯絡す▲光州加藤自動車運輸部

◎古本熱心高價買入△御報參上　是非御試を乞ふ△本町四　電話二七八一番　書肆群書堂　211

◎恩給年金即時立替　新龍山漢江通六番地元町支店　222

◎店員入用希望者は至急來談あれ　龍山驛前　森下酒店　電話百〇二番　236

◎貸金　月收の御方並に小口營業資金迅速に融通可致候　花園町百二十二番地（升月の前）赤塚

番外

貸家　光化門通り遞信局横百六拾番地官吏向至極暖かき處にて家賃金水道共八圓也　京城貰金町三丁目　乾寫眞館　電話二三三六　231

▲早晚ストーブの時期が見へました　早くメツキ修繕に御送りください　京城明治町二一一　江草電鍍工場　242

京城春川間每日午前八時出發　貸自動車片道四圓　京城南大門通一丁目　廣橋自動車　電話二一九番　主務　金正淵　195

恩給年金即時立替　月利年分何年分でも御相談　京城若草町百六番地若草町停留場前　西村商會　150

毎月見られる抽籤を　勸業債券　月賦販賣　報國公債株式會社京城總代理店　代理店募集　京城若草町百六　151

外勤社員採用　但內地人　京城黃金町二丁目　共保生命保險　京城出張所　239

[illegible]十五叺下格七百一叺なり之を一月[illegible]米の[illegible]月に入り[illegible]始めより八月末日迄の檢査米に加算[illegible]百一叺にして全部下格なるが[illegible]の檢査總數は[illegible]叺にて[illegible]向け各方面に送らるゝ物なるが主[illegible]

◉仁川[illegible]京元[illegible]貨物[illegible]に到着貨物大豆の荷多[illegible]川四百六十八噸、鐵原千四百七十噸、[illegible]千五百四十一噸、福溪百九噸、[illegible]

◉金塊を強奪す 平安北道雲[illegible]に押入家人を脅迫し釘抜を以て箱を破り金塊十五貫匁時價金百五[illegible]現金[illegible]

◉先づ桃山の御陵に詣で、」
侍天教大教主金演局師の内地觀光

朝鮮侍天教大教主金演局師は内地觀光の爲め九段坂上松葉館に投じて京都に在る寺内總督の歸東を待ち受けて居る『總督の紹介で内地の名士と歡談を交へ日本の

▲精神的文明の 流れを汲んで歸鮮してから朝鮮人開發の爲めに盡したい』とは金師渡來の目的であると云ふ朝鮮に侍天教の起つたのは今から五十七年前濟世主崔水雲氏が龜尾山中の龍潭亭に立籠つて天弊人語裡に宇宙の原理を大悟した時に發源して居るので敬天教崇の主旨と「侍天主造化定、永世不忘萬事知」の呪文は信者が涙を流して唱へる『お題目』それが明治四十一年一月公然と決られてある政府の許可を得て京城に教會を樹ていから教運は還かに開けて行つた總督府が其の開發に努力した效果もあらうが今日は

▲信徒の數朝鮮十三道から滿洲に及び廿七萬六千餘人を算へ教會が百卅五之に從ふ布教員千四百人と云ふ侍天教全盛を謳はれ朝鮮人精神界を支配する大勢力を占有するに至つたのである金演局師は即ち侍天教三代の大教主で一代二代の教主は朱學儒教の流れを固守した時の朝鮮政府に異端邪教視せられて斬刑の禍に生命を殲した金師も亦明治三十四年六月公州の鎭所に捕はれて七年の星霜を京城の獄裡に涙の月を眺めたのであつた、ところが其の長い年月に世態は

▲驚く可く變化 してゐた、京城には伊藤公爵の統監政治が布かれて、朝鮮は日本の統治權の下に、信仰自由の皇恩が十三道の隅々にまで行渡つてゐるのであつた、金師は日本先帝陛下の有難い思召しに感泣して、益々侍天教の布教と鮮人の開發に努めて居る、と松葉館の應接間に總督府屬李覺鍾氏の熱心な談話の終るを俟つて記者は導かれて金大教主の病室に通される、金師は數日來輕い風邪で床に臥つてゐた

▲今年六十歳と は見えぬ元氣に滿ちた温顔に微笑を湛へて白髯を撫で乍ら語る『私は桃山の先帝陛下の御陵と伊勢神宮を參拜しなくては内地の諸所を見物するのは恐れ多い事だと考へて居りましたから上京の砌桃山と伊勢に參拜して參りました朝鮮は勿論實力も精神界も遠く内地に及びませんけれ共同じ皇恩に浴する國民ですから内地の精神界を研究してせめて精神的にでも内地人同様の開發がしてやりたいと思つてをります、まだ私は感想を述べる程、名士に接したり其他觀光を逮に致しませんが大隈首相には近くに御面會出來るかと思つて居ます先日私が日光に遊んだ時御用邸に奉伺するの光榮に接しました私は身に餘る名譽と喜んで居ます』と（大阪）

◉莊嚴を極めたる 聯隊旗奉拜式
會寧守備隊賑ふ

去る十日會寧守備隊にて軍旗奉拜式舉行あり當日は朝來空模樣惡しく加ふるに少雨さへ降りたれば奉拜式は隊内雪中演習場に於て舉行せり步兵隊（茂山、鍾城、慶源等の代表部隊を含む）は塲内の東面縱隊横隊に集合整列し其側には當日來賓として

▲此の盛典に列 するの光榮を得たる工兵隊、衛戍病院等の將校同相當官、各官公吏、地方有志等整列し中央前面には二個の壇を設けたり斯くて午前十時に至るや小西少尉の捧持せる燦然たる聯隊旗は數名の著劔せる下士に護衛せられ山田聯隊長之に從ひ粛々として南入口より入り來り小西少尉は軍旗を捧持したる儘中央に設けの壇上に直立し聯隊長は同左方壇上に現れたり此時

▲嚠喨たる喇叭 の音響き渡り同時に一同捧銃の敬禮を行ふ次で聯隊長の勅諭及び勅語捧讀、訓示等ありし後軍旗を奉送して莊嚴なる式を終れり奉拜式終つて午前十一時より營庭に於て分列式を舉行せり軍旗は山田聯隊長と共に第十中隊兵舍前に位置を占め國分大隊長先登に立ち嚠喨たる喇叭の音と共に大隊は隊伍粛々として軍旗の前面を通過する樣壯觀を極む斯くて分列式終るや直に隊伍を整へて

▲突撃演習に移 る隊は營庭の北端に位置し南端に假設敵を設け軍旗を先登に國分大隊長軍刀を振り翳して之れを指揮し驅け足喇叭の音勇ましく突込めの號令と共に吶喊の聲四邊を壓し天地も爲に崩れん計りなりき之れにて演習を終り來賓は將校の案内にて兵舍内を參觀せり舍内には各中隊共夫々趣向を凝したる滑稽奇拔なる作り物及び餘興等ありて頗る賑ひを極め正午より下士集合塲に於て宴を開き一同歡を盡して散會したり（清津通信）

◉葉書までも消毒して
兩陛下還幸啓と宮内省の警戒

宮内省にては東京市内に虎疫發生以來宮内防疫令に則り嚴重なる豫防をなしつゝありしか尚各區に亘り日に増し猖獗を極め何時終熄するや見込つかざる狀態にあり、殊に聖上皇后兩陛下には十八日還幸啓の旨仰出されたるより此際一層

▲警戒を要す ることゝなり石原宮内次官は各部局に對して職員出入商人職工人夫等其居所より約十五町以内の地に虎病又は疑似發生の時の參入遮斷權病の場合請負業者賄入に係る豫戒殿内内庭の修理又は掃除等に從事する職工人夫の取締其他行幸啓先又は御成の場所へ物品を送致するときは嚴密に二重の包裝を施す等細項に亘つて達する處あり宮中の内外に亘り大清潔法を執行すると同時に今後宮城内に

▲搬入の貨物 は大小の別なく假令書信より藥品に至るまで一々大手門内皇宮警察所屬の消毒所に於て嚴密なる調査消毒を爲すことゝなり多數の防疫官これが準備に忙殺されつゝあり又大膳職其他にては御料品の買入は惡疫流行地以外より

▼購入せざる べからざるより之に就きても内務省と交渉を重ねて調査中なり一方水道は大體に於て安全なるも萬一を慮り使用には一々消毒して萬全の策を講じ居れり

◉臺車衝突して 乘客重傷を負ふ

栃木縣那須郡門田村生れ當時羅南居住煉瓦職竹内新太郎（三七）同羅南居住の同職長谷川森松（三〇）の兩名は所用の爲め本月八日臺車に乘り會寧に赴く途中同日午後九時頃會寧を距る約一里會寧橋附近に於て上り空車と衝突し長谷川は無事なりしも同乘者竹内新太郎は左右兩足を臺車に挾まれ骨肉共に粉碎せらるゝの重傷を負ひ直ちに會寧慈惠醫院に入院治療を受けたるも餘程の重傷にして兩足共切斷せざれば治療し難しと其當時の模樣を聞くに同臺車の中島驛を出發したるは同日午後八時頃にして夜間なれば特に提灯に點火し前記遭難の場所迄來りたるに同所は地勢低くして双方共下り勾配の急なる箇所なれば臺車は疾風の如く進行し其勢力凄まじき折柄俄然前方より一臺の臺車進行し來り遂に前記の如く衝突したるなりと（清津通信）

流行の洋服

愈々夏服を脱ぐ時期になりました。夏服から合著へ、合著から冬服へ移るには、それぞれのお好みもありませうが、先づ本年の流行を御參考までにお話し致しませう。背廣と云はずフロツクと云はず

□本年は 總體に小ぢつぱりした體に着くやうなのが流行です。これは二三年前と較べると大變に違つて來ました。背廣では昔に歸つて兩前なる位になりました。襟は大きく取してチヨツキの少し見えるやうに見ゐるのです、ズボンは少し先が細くなつて參りました。また片前

□背廣は 襟は矢張り大反りで、釦は兩側に二個を付けます、ズボンの方は別に兩前と變りは御座いません、只上着で著しく相違してゐる點は昨年まで裾に圓味を持たせてゐたのを今年はこれが直角になつた事です即ち一文字形で、衣嚢は左の胸外に一個附けるのが流行して居ります、次に運動服と

□獵服で すが、これは今までの特殊なものではなくなつて、餘程背廣に似て來ました、これで衣嚢が外に乘せかけてなく、ズボン乘せ分でなければ、背廣と變りがない事になりますが然し背廣の如く一文字ではなく幾分の圓味を持つて居りますのと、いくらか條腰があるのとは背廣と變つた處で、外套は總體に短かくなりました、如何にも上品なのは片前で、襟を大きくして、それに

□天鵞絨 を付けてあります、矢張り胴を締めて幾分か細く、ハイカラ向きの方は左の胸に外衣嚢を付けます旅行用の外套は僅かに出來て居りますが、まア申せば全て英國好みで御座います

◉宣教師殺し犯人捕はる
犯人は元陸軍一等軍醫正の長男

信州輕井澤宣教師殺し犯人毛利義尚（二五）は名古屋にて縛に就きたるが同人は元陸軍二等軍醫正毛利隆尚の長男にして柔道の達人なりと（大阪特電）

得たる外賓上金の内より十三圓十四錢五厘を横領したる事發覺本町署に於て取調中の處十五日横領罪として檢事局送り

◉夫婦殺しは養子の一族

八日備後國世羅郡東村金浦家木原吉平方に押入り夫妻を殺害し現金百二十圓を強奪せし強盜は此の程にいたり吉平の養子正太郎の實弟小池幸二、正太郎の妻さの一族等、正太郎の兒木花誠一、幸二の從弟中元三一郎、正太郎の兄某の共謀せしものと判明右犯人は尾道に收監されたり（大阪特電）

◉青島檢疫開始

青島防疫委員會にては豫防方法各項に就き日夜忙殺され居れるが既に大體に於て其準備も整頓したれば來る十四日より當港出入の内外船舶に對し規定の檢疫を實施せり（青島）

◉晋州に虎疫患者發生

十七日慶尚南道晋州に虎列拉患者一名發生せり（晋州特電）

◉虎疫 巨文島を襲ふ

十六日巨文島に疑似虎列拉發生し麗水署よりは山田署長公醫等と共に急行せり（釜山特電）

◉圖々しい雇人

京城吉野町居住富山縣東礪波郡生れ京城ホテル雇人武田正玄（三二）は同ホテルの商品を列車内にて販賣し賣揚金の百分の五を受くる約束にて京釜線列車中に乘込み居りしが之れでは自分の手に入る利益金が少額の所から窃かに他店より商品を仕入れ一儲けせんと九月五日草梁驛前松下雜貨店よりサイダー四十本、桃六十個、外國菓物其他を買却して二圓九十錢の利益を

◉平壤の招魂祭

招魂祭は十五日午前十時より瑞氣山忠魂碑前に於いて執行せられたるが式は平壤神社社司祭主となり山下府書記府尹代理として祭文を朗讀し工藤長官、市井檢事長、島山法院長、市川旅團長、長野聯隊長、蒲警務部長其他參拜者玉串を奉獻し步兵第七十七聯隊の各中隊及び各學校生徒四千餘名參拜あり非常の盛況を呈せり

◉公金横領

平北定州郡[illegible]泉[illegible]月玉洞姜穰濟（三）は昨年宣川郡面書記在職中田英泰なる者より橋梁費として金五圓を面長に交付すべく受取りたるまゝ之を横領費消せし事二回其他にも民籍事務取扱に際し收入印紙代を面民より受取りて横領したる事發覺し義州支廳にて懲役四箇月を申渡されたるが之に服せず平壤覆審法院へ控訴せり

◉少女を辱めて

平壤幸町居住人力車夫朴大弘は七月頃近所の金少女（一二）が兵營附近山中にて遊戯をなし居る際突然接近して辱めたるため十五日平壤地方法院に於て懲役三年に處せらる

◉船を襲ひし賊捕はる

仁川港碇泊の海州丸よりマニラロープを窃み[illegible]し犯人は其後捜索中なりしが十六日朝に至り判明し仁川水上署の手にて逮捕されたりと

◉猩紅熱

仁川府栗木里垣下小一郎妻ソヨ（二三）と云ふは數日前より不快の氣味にて自宅に療養中此程醫師の診察を求めしに猩紅熱に犯され居る事判明し直ちに傳染病院に收容さる

◇女中の不足はこれから
腰が据らない

◇此の頃 は例年の事ながら如何はしい女が大分殖ゑて來たやうである、警察の私娼取締方針が非常に嚴しくなつたために今年は餘程驅逐されたらしいが、殖民地に來てゐる獨身の女の大部分の放縱な事は驚くばかりで夏の内こそ猫を冠つて良家に子守なり女中なりに住み込んでゐた者も

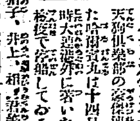
◇追々凉さ擱はつて來ると手にヒビ切らす水仕事などは眞平御免とばかり「女の道」といふやうなものを殆ど眼中に置かぬ不心得者が滔々として忌しい世界に這入つてゆく斯うして渡り者の女中がどんどん暇を取るので各家庭の女中が不足するのは今時が最も甚だしい樣である、それから時候の

◇替り目 になると、種々樣々の關係から地方から京城へ、京城から地方へといふ風に勤め女の出代りが頻繁になる、藝娼妓の鞍替などで市中の口入屋は可なり忙がしいさうである、近年内地から獨りで出て來る若い女は大分減つたが

◇今年は例の五月一日から實施される事になつた貸座敷料理店、娼妓取締規則によつて地方の曖昧料理店に從來乙種藝妓とか酌婦とかいふ名義で怪しからぬ稼業をしてゐた者が近頃では表面娼妓と呼ばれる事になつたので流石に親許の手前もあるのかばつたり減つたといふ事である、之がために

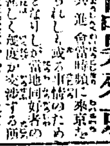
◇此の間 の事情を何んにも知らず、欺される患ひはなくなつたさうだがその代り困つたのは右の手續の缺點を惡用して婦女誘拐の樣な事をしたり又はそんな者と結托して騙い女を陷し入れてゐた惡口入屋の輩だが兎に角こんな理由で

◇内地から飛び出して來る若い女の數が少なくなつたのは事實である、京城の花柳界にも之から盛りに入る頃を見越して五名ばかりの藝妓の輸入があつたが此の内中券の四人が最も多い樣である



▲天狗連來る

天狗倶樂部の家保連を乘せたる阿蘇丸は十四日午前九時大連港外に着いたが例の檢疫で停船してゐるので新聞倶樂部の寒川、中澤、井上、押川、吉岡等數名は一行の上陸が待ち切れず午後一時頃埠頭の[illegible]下で乘出し近く漕ぎ寄せると眼前に陸を見ながら終日船中に我慢せねばならぬ始末に頗る無聊に苦しんでた天狗の面々それぞれ甲板に現はれたので船欄を隔てゝ下から振仰ぎ「ヤア暫く」「[illegible]」など挨拶を交はして一應立歸つたが漸く檢疫を終つて船が五時過ぎ岸壁に横着けになり天狗連は背廣服に鳥打帽を戴いた[illegible]氏を先頭に[illegible]押川、西尾、鈴木、大村兄、[illegible]、阿部、赤堀、日下氏等一行十二名何れも洋服のハイカラ姿で上陸し同窓の著名な新聞記者連に案内され一先づ遼東ホテルに入つたが上陸が豫定より一時間ばかり早かつたので[illegible]倶樂部の[illegible]連中の[illegible]が一勝見へず[illegible]が待ち疲れた頃漸く揃ひ[illegible]大町、井上君等が迎ひに來て一同馬車を連ねて若狹町みさ冬館に投宿した一行は何れも大元氣で一撥便に材料を提供するのは平氣だつたけれど終日船中に待たされたのには閉口したが上陸して見ると何となく周圍が大陸的でいゝ」など大陸の空氣に攻快を感じた模樣である大村（弟）君は一行に加はつてゐず代り慶應の日下君が入つてゐるから野球試合には多分同君が投手を勤むるのだらう（大連通信）



▲呂昇來京

昨年共進會當時頻に來京を勸ぜられしも或る事情のため中止となりしが當地同好者の熱心なる懇請により漸く交渉する所ありしか今回中村十郎氏が運動の結果本月末來鮮十月一日より五日間有樂館に開演する事となれるが一行は呂昇以下十八名にして其内東廣及び今回呂昇の養女となれる昇六も加はり一座孰れも内外直参の若手揃ひにて呂昇の美聲と共に頗る喝采を博する事なるべく然かして呂昇一行は京城に直行五日間興行後は地方巡業は一切せず直ちに内地に引返へすべしと

有樂館出演の豊竹呂昇

▲大正館 泰西軍事劇旗使振派劇小嵐、[illegible]御座重兵衛[illegible]日[illegible]等にて好評を博しつゝあり

▲有樂館 餘興として大阪より呼びたる浪花節の少女本年十五歳の吉田浪子の語り口が人氣に投じ初日以來連夜滿員の盛況は大したものなり

▲浪花館 女義太夫竹本林之助一座十八日夜の語り物は左の如し
八陣守護城八丈爺ケ森の段（綾久）八鎌倉三代記三浦別れの段（林園）八明烏六花曙山名屋の段（生子）八八陣八ツ目吹雪本城の段（林玉）八花菱佐倉曙宗五郎子別の段（はれ）八難花形八ツ目小五部簾の段（久子）八楠川忠兵衛新口村の段（廣治）八播州下の巻谷邦内の段（林之助）東勝山八大切忠臣藏三段目落合の段（總一座掛合）

◉上田鑛業所開始

今回永樂町に開始せし同所は工學士上田徹氏の主宰にして同氏は明治三十七年東京工科大學採鑛冶金科出身にて宮城縣本吉郡鹿折金山其他の諸鑛山に技師長又は事務長として多くの經驗を有し現に朝鮮にても京畿、黃海、忠北等に金鑛及び重石鑛を經營しつゝあるが目下京城に並眞目の鑛業所なきを嘆じ今回自ら其の主宰となりて開始する事になりたりと鑛業家の爲には頗る便利なるべし

◉三和高麗燒支店開業

高麗燒の復活に拾數年間苦心の結果技巧優秀の作品を共進會に出品して金牌等を受領したる三和高麗燒の窯元たる鎭南浦富田商會は今回各方面の勸誘により京城本町二丁目に支店開業の爲したり

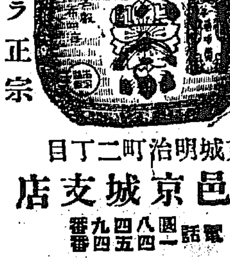
銀行會社 官吏鐵道 員養成 講義錄
速成四ケ月卒業會費二圓八拾錢校則進呈東京芝公園大日本國民通信學校
卒業者は各自希望通東京は勿論全國へ直に就職せしむ、

朝鮮總督府法定消毒藥
アイゼル液
無比の防臭作用と殺虫力を併有す
全國藥店にて販賣

京城永樂町二丁目（商品陳列舘裏門通）
酒井婦人病院
入院隨意　電話二六〇一八番

▲京城バザー開館▼
▼開館 愈々九月十六日より！ 毎日午前九時より午後十一時迄開館致します
▼商店 豫定の店舖完備！ 雜貨品やら化粧品日用品まで嶄新な品ばかりです
▼正札 にして一切懸値なし！ 御婦人でも御小供達でも安心して御買ひ下さる事が出來升
▼景品 開館の祝意を表し！ 五日間御買上五十錢毎に景品御添へ致します
▼引替 速時に當館内にて！ 御當りの御方へは陳列してある景品を差上ます
御散歩旁是非一度御來舘被下度御願申上候
京城本町二丁目（電話二五一番）
京城バザー

西小門町舊醫院跡（電話一三一五）
内科小兒科 外科花柳病 診察 自午前八時至午後九時
高井醫院分院
院長正六位勳四等 高井貞治 副院長千葉醫學士 松崎正彦

比較は最良の撰擇法なり!!
サクラ正宗　サクラ正宗

京城明治町二丁目
山邑京城支店
電話 四八一番 四五四番 九四番
振替京城五七番

池田季雄
イケダ小兒病内科醫院
京城三越呉服店前へ入る旭町四丁目 電話（醫院一三二四番 自宅八八〇番）

かつけ病者に告ぐ
東京地方裁判所に登錄を受く
かつけふうじ
京城大和町一丁目十番地
京城出張所
委しきは電話千三番へ御照會

渡邊默禪

『一〇八』宿へ下れ

と、秀子はぢろりと際に横たはつた住江の方へ目を流して
『あゝ、爾うだつてね』
と言つた丈だつた。平馬は重ねて
『實に氣の毒でございますよ。平常から勝氣な人だけに、自分一人で消さうとしたもんですから、遂にこんな負傷をしたのでございませうが、何故その時に人を呼ばなかつたのか我慢も品によりけりだツて、只今も皆なに爾う申して居る所です、併し此の人だから他手を借らずに自分で消止めくれたやうなもの、是が外の女中ならたか〳〵爾うは參りません、恐らく大事になつたか……』
『もちよいと、鈴木』秀子はそれを遮つて『お前、火の出た原因や何かを調べて見て、爾う言ひなのかね』
『いや、詳しいことは、本人は御覽の通りまだ談話をするといふ所まで參らんものですから、只現場の模樣と女中們の話を一應取調べたゞけですが、どうやら瓦斯が漏れて、それに火が點いたやうに想はれまするではい』
『そら御覽、まだ事實が判然しないでせう、判然しない先なら誰に責任があるんだか。知れないぢやありませんか。それだのにそんな勝手な批評をする人がありますか。いくら住江が贔負だつて、褒めるにはまだ早いわね』
『左樣ですかなア』
『なアぢやありませんよ』薄い唇をそらして『今女中どもに聞いたら瓦斯の七輪を管のついたまんま、部屋に引入れてあつたといふぢやないの、誰がそんなことを爲たんです。竹は外へ出て消る都合になつてゐたといふから、臺所に居る者は住江一人切なんでせう。住江より外にそんなことを爲る者はないでせう』
『なるほど』首を右へ曲げた。
『大方口惜しくなつたもんだから、皆なが寢つくのを待つて、一人でこつそり何か煮物をして、おつまをやらうとしたんだわ。そんな意地汚なをするから罰が中つて、ボヤなんか出したのよ。ね、乾と爾うよ。自分で爲たことでなけりや大きな聲を出して、みんなを呼ぶ筈だわ。呼んだつて差閊がない筈よ。何にも後譴いことがないんだものねね。それが一人であたふたして消さうとした所を見ると、自分に後晦いことがあるから談哉が惡くつて、聲が出なかつたんだわ』
『へゝー、いかにも』
『すると責任者は住江でせう。是だけの疎匆をして家を焦した責任は、可厭でも住江に持つて貰はなければならないわ。持つのが至當よ。自分の過失から出たんなら、火傷ぐらゐは自業自得で仕方がないぢやないか』そんな人に向つて御大層らしく病人扱ひをするには當らないわ』
ぎゆう〳〵と理窟詰にされて、鈴木は苦い顏をしたなりに默つてゐた
住江は蓐の上で少し身動きをして、何か言はうとする樣子だつたが、その元氣が無かつたと見えた。枕にのせた首の方向を轉へたゞけで止めた
『いや、其事は追々調べも致しまする。し、責任があればあるやうに處分も致しまするが、何は偖措き、この通りの怪我を致したものを此儘臺處の部屋に押し罩めても置かれますまい。如何でございませう、お邸内で治療いたさせるのも何でございますから、何處ぞ手近な病院に入れましては。』
少頃してから平馬は恁う發議した
入院させた方が住江の利益でもあり又た秀子の機鋒を避けるに都合がよいと思つたのである。と、秀子はますます不機嫌らしい顏をして
『ね、入院? そんな必要があるんですか。家に寢てゐるのが可厭なら宿に下げてお仕舞ひなさい』
何處までも冷酷な詞だつた。
* * * * * *
血に狂つた猛獸は今し鳩子を突倒して矢庭に爪を懸けようとした。
その時奮然として驅著けた源作は小腋に抱へた枝つきの生木を翳していきなり熊の喉首を突いた。熊は鳩子を弃て丶一躍しつ丶其の樹に咬みついた。源作は吒と氣合をかけて渾身の力を籠め、ぐい〳〵と押した。熊は筋斗打つて逆さまに仆れながら樹の枝に取著いてばり〳〵と嚙碎いた。

皮膚科 徽毒 病 痳病 膀胱 生殖器 機能障碍
入院隨意(診察夜九時迄)
日曜祭日午後二時迄
京城明治町二丁目(元町四丁目) 佐藤醫院 (電話一一七三番)

京城旭町一丁目四番地(旭町上る左へ入る)
外科 花柳病 皮膚科 耳鼻咽喉科 內科
島崎病院 電話二七三六番
診察夜九時迄 院長 醫學士 島崎龍一
手術室新設、隔離室、普通病室設備 入院隨意

仲秋俳坐

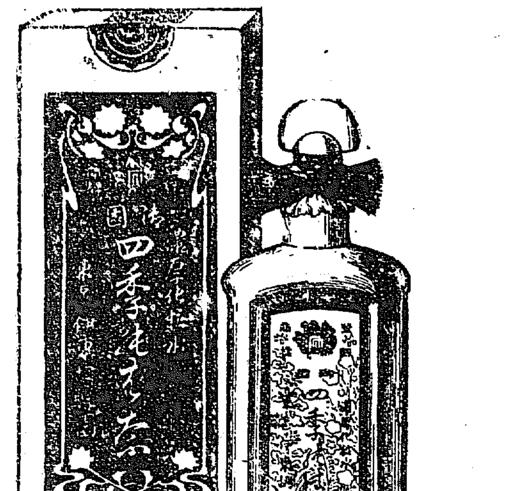
田打夫
○
水郷や眞菰の月に無燈舟
秋草や小皷の紅の緒かな
母病めば暗き夕餉や鷄頭花
○ たかし
病む母に草の根煮るや月の雫
轎の尻に尊徳さん野菊咲く

文庫張りて照る陽待ち居る鷄頭に ひさし
○
竹買りて足洗ひけり秋の水
朽ちし木鉢に鷄頭の花赤し
倒れ居し鷄頭の花、賓屋敷
○ 虚中子
夜の鳥や月の樹間を滑り飛ぶ
秋の水に鍬洗ふ農夫哉
又してもつまる下水や蓼花

新刊紹介

▲圍碁互先布石攻合法(方円社長中川龜三郎著) 著者が中川相白と共に陣立、攻防、收束等を精密に研究講述せるもの上下二卷より成り上卷二十九局下卷三十五局總て之れ實戰應用の手變萬化の戰法を設けるもの隱訣あり暗闘あり、逆襲あり、伏兵あり、誘ひ手の魂膽敵の裏を掻くの秘法等處々實を變化無窮にして圍碁妙味を盡せり本書を一讀せば機略縱横實戰に臨み敵を掌て中に翻弄する事亦難からざるべし但初學者には難解の節なきにあらず(一圓二十錢東京市日本橋區北鞘町一〇大成屋)
▲大阪小間物商工新報(九月號) 五錢大阪市東區北久寶寺町二の一四共社
▲衞生新報(九月號) 五錢東京市小石川區宮下町一二共社
▲圍碁虎之卷(九月號) 二十錢東京市芝區白金三光町四六二宮之日本社
▲竹之友(九月號) 五錢東京市麴町區四番町九川潮方共社
▲日本養蜂雜誌(九月號) 八錢名古屋市東區長塀町三の五共社
▲養蜂界(九月號) 六錢愛知縣中島郡奧町共社
▲木太刀(九月號) 晩村、竹冷、小波、水陰一派の俳諧雜誌にして諸國の七夕には各地各樣の趣味ある記事を載せたり 十八錢東京市牛込區築地町一二共社
▲小學新報(十月號) 魔法の馬、猫の失敗、などいつもの通り美麗な挿繪があります(八錢東京市府中鐵谷三〇九共社)
▲飛行少年(十月號) 旅團の全滅を前にして奮戰すは壯烈なる戰場快話洋上の怪光は好個の小說、其の他立志小說、冒險談東國少年の血を湧かしめる讀物ばかり(十二錢東京市京橋區本八丁堀二の一日本飛行研究會)
▲少年倶樂部(十月號) 本號には東久邇宮殿下の御寫眞に御供して河野校長の外遊を見に探せり、怪劇冒險發光、滑稽漫畫挿繪、若い歌圖家其他總て卅快味快(十六錢東京市本鄕區駒込坂下町四四大日本雄辯會)

▲南大門市場に毎日のやうに病の朝鮮人が一人まで徘徊して果物や野菜を漁つたりして居るが市場の人達は猶恁な病が怖ろしい病氣である事も傳染病である事も知らぬらしいが實に危險千萬である(戰標生)▲又た漢陽公園の下に女の鮮人狂者が來て木の葉を拵つて食ふて居る物騷千萬だ(ヨンガミ)▲僕は登山に好い處として碑岸を推擧する(天高肥馬生)▲京城市中には高い建築もあるが公衆の爲め櫓大時計を設けてあるのは一軒しかない朝鮮銀行前のカフエーやバーでは一とつこしらへて貰ひたいものですね夜分共は非常に便利だ(公共生)▲此頃何うも醉と醬油に如何しいのが多い酢などには全くサクサン一點張のものがあるが彼れでも胃腸などには害はありませぬか(胃弱生)▲鰻屋の遲いのは當然だが京城の蕎麥屋の出前の遲いのには驚く之は蕎麥屋が不勉強だからだらう(新入京者)▲京城の家賃の高いのは當前だと云ふ者もあるが大掃除の時に町を通て見給へ借家の疊にロクなのはない彼んな疊を敷かして置て高いが當り前だなんて高利貸よりもひどい(個人主義)



御園四季の花

白粉を美しく附けるには、常に土臺の地肌を整へて置く事が必要です、化粧水御園四季の花は此點に別段の効能があります、即ち洗面後入浴後に用ひて、皮膚を柔軟に肌理を整へ、色艶を麗しく、肌荒れ一切を防ぐに無類の化粧料です
(定價 金二十錢 金五十錢)
本舗 伊東胡蝶園
發賣元 丸見屋商店
(83)

怖るべき胃腸病
胃アトニー胃擴張とは何か(村井啓齋先生の新發見)
(下痢止めの妙藥ゲンノシヨウコ 一袋送料共卅錢)

胃腸は全身の營養を掌る所ですから身體の中でも最も大切な機關です、此機關に故障が起ると全身の營養が衰へて直に健康を害しますが、胃腸さへ強健であれば假令
コレラや赤痢の黴菌を飲んでも之に犯さるゝことはないのです、然るに百人中の九十九人までは此大切な胃腸に何かの故障があります、中にも最も多いのは胃アトニーと云ふ病氣で、人が食物を食べますと胃は直に消化作用を起し、其消化されたる一小部分を吸收して、殘餘は總て腸に送り食後二三時間後には胃は空虛になるべき筈ですが、多くの人は胃腸を虐待して暴飲暴食をなし又色々の原因で胃の筋が弛緩し胃の輸送機能が衰へて居ますから食べた物が胃より腸に送る働きが遲延します之が卽ち胃アトニーで胃の膨滿停滯を來し痞痛壓重等を感じ或は食慾が亢進し又は減損し、噯氣を催し嘔吐を起し便泌ともなり下痢ともなるのです、胃筋が益々衰弱しますと遂には胃袋が擴がつたまゝ緊まらぬ樣になり食物が幾日分も胃に滯積して腸へ下りません、之を胃擴張と申します、胃の筋が弱くなつたのですから醫師も根治の道がないのです、然らば胃アトニー胃擴張は絕對に療治の道がないかと云ふに村井啓齋先生發見のタラコンがあります、タラは第一に消化作用を助け、第二に胃腸の輸送機能を活潑にしますから之を服用すると食物が胃腸に停滯しません其證據は胃を洗滌すれば直に分ります、第三にはタラには一種の刺戟性があつて胃腸に生じた癌腫の如き異性物を溶解します、其他色々の成分があつて總て胃腸の病氣に効があります、昔は之を服すれば子を得すること二十人、壽を得ること三百歲と稱し益氣補精の靈藥としたのであります、詳細は東京小石川下富坂町二十番地(朝鮮總督府認可)藥精東京元賣捌所無量壽藥園に御問合せなさい、藥價一週間分一圓送料六錢二週間分一圓九十錢送料八錢海外卅錢(振替口座東京二〇〇二一番、電話番町四一三八番)です尚同園は診療部を開始し一般患者を診療して居ります。

營業品目
罐詰 乾物 海產物 雜穀 清酒 銘茶
漆器 家具 文具 紙 荒物 履物
金物 農具 石炭 石油 陶器 磁器
洗濯石鹸 洋蠟 日本釜 京城釜 サバリ 提灯
蒲團綿 中入綿 小袖綿 鐵火鉢 箱火鉢 飯ビツ
仁川新町 津田兄弟屋本店 電話七六二番 振替口座京城三八九番
仁川宮町 津田兄弟屋支店
京城本町 津田兄弟屋支店

月やく
妙藥知らす 困りの方は郵券三錢封入左記に御照會あれ
京城黃金町三丁目 山田志づゑ

汽船釜山出帆廣告
○門司、神戶、大阪行 立神丸 月 日後五時出帆
○元山、淸津、浦鹽行 山城丸 月 日後十時出帆
○元山、城津、浦鹽行 立神丸 月 日後十時出帆
○元山、西湖、新浦、城津、淸津行 小倉丸 月 日後六時出帆
○元山、第三琴平丸 月 日後六時出帆
○門司、宇品、神戶、大阪行 第三琴平丸 月 日後六時出帆
○住須奈、嚴原、壹岐、博多行 天與丸 毎月二日九日十四日廿一日廿六日)午後十時出帆
釜山港埋立新町 本船取扱店 大池回漕部

共同汽船仁川出帆
○芝罘、大連行 阿波川丸 九月十六日後四時入 九月十七日正午時出
第六共同丸 朝鮮鐵道主要驛にて朝鮮各港大連にては青島行定期船接續貨物取扱仕候 同額運賃にて通し輸送取扱可仕候
○城津、淸津、浦鹽行(元山出帆) 月 日後九時出
第一阪鶴丸 月 日
○西湖津沿岸各港を經て雄基行 第三共同丸 元山出帆 月 日前八時出
阿波國共同汽船株式會社
仁川代理店 本町一丁目(電話一〇八番) 山下回漕部
元山代理店 春日町(電話二四七番) 田口回漕部
京城取次店 南大門(電話二六八・二〇七) 河村運送店

金泉醴泉間自動車時間
金泉醴泉 上り 下り 各便時刻表
小荷物運搬仕り候
金泉織居自動車支部 金泉電話四八番

大邱浦項間自動車時間
大塚農場自動車部 大邱出張所 電話一七番

大阪商船仁川出帆
○外航所屬航路(括弧航路を除く)間連絡切符發賣仕候
○群山、木浦、釜山、關門、神戶大阪行 群山丸 九月廿一日 須磨丸 九月廿八日 大智丸 九月廿四日 後五時出
○木浦、釜山、嚴原、鄕の浦、長崎行 信濃川丸 十月二日 信濃川丸 十月二十日 後二時出
○群山、釜山、橫濱行 福州丸 九月九日 潮州丸 九月廿六日 後二時出
○木浦釜山關門、神戶、大阪行 安東丸 九月十九日 後二時出
○鎭南浦、大連行 信濃川丸 九月廿七日 信濃川丸 十月十五日 後二時出
○大連直行 福州丸 十月三日 潮州丸 九月廿三日 正午出帆
○鎭南浦行 天智丸 九月 日 正午出帆
○淸津、浦潮行(元山出帆) 印 ハ城津西湖津ニ寄港 浦潮不寄港 平丸 十月十二日 宮島丸 九月廿二日 後二時出
○上海、基隆、打狗行(六連出帆) 基隆丸 九月廿四日 湖北丸 九月 日 後四時出 前六時出
御注意 ●朝鮮鐵道及び南滿洲鐵道會社との船車連絡切符發賣仕候 ●御乘船客は御早目に時間無賃送迎可致候 ●×印は本船の都合により△印は寄港致候
切符發賣所 大阪商船會社仁川支店 電話二〇番 五五番
京城切符發賣所 內國通運會社支店 電話七〇八番
●中國西國沿岸各港行航客に對し一割引を以て連絡切符發賣仕候

朝鮮郵船出帆
本社 電話長一九五二番二一三二番 鐵道會社及社外船と荷客連絡輸送の便あり詳細は支店出張所代理店荷客取扱店に御照會を乞ふ
京城府大門通前 京城府各取次店 松原運送店(電話長一七〇番)
○全羅丸 九月十九日 ○京畿丸 九月廿九日 ○黃海丸 十月三日 ○咸鏡丸 九月廿三日 門司より釜山各港經由北間航路 釜山發
○稜城丸 九月二十日 ○昌平丸 九月十八日 ○鏡城丸 九月廿四日 元山より各港經由雄基行 元山發
○忠清丸 十月二日 ○平壤丸 九月廿七日 城津淸津浦鹽行復航釜山より門司又は長崎行 元山發
○永興丸 北久味、五里浦行 毎月廿八回 元山發
○孟德丸 甘浦、九龍里、浦項各港寄港鬱陵島行 九月廿二日 釜山發
○江陵丸 ○載陽丸 長生浦方魚津寄港 毎日 釜山發 浦項發
○三浦丸 長承浦、麗水、巨文島濟州島各寄港 九月十八日 釜山發
○海州丸 ○統營丸 各港經由麗水行 ○巨濟丸 ○慶寶丸 (三日目一回木浦行) 毎日 釜山發
○順天丸 各港經由麗水行麗水より釜山行に接續 三日目毎ニ 木浦發
○慶興丸 各港經由濟州島行西廻 九月十八日 木浦發
○慶興丸 南各島海列島行 月三回 九月廿一日 木浦發
○公州丸 各港經由濟州島行東廻 九月廿四日 木浦發
○宗信丸 海州他各港經由鎭南浦又は白翎島行 九月十九日 仁川發
○江原丸 椿島、大連、芝罘行 九月廿五日 仁川發
○麗水丸 ○晋州丸 各港經由木浦行 九月廿一日 九月廿七日 仁川發
○全州丸 ○南陽丸 江華島、喬桐島、海州行 毎日午前 仁川發

尼崎汽船仁川出帆
群山、木浦、釜山、下關、神戶、大阪行
○君が代丸 九月廿三日後四時出帆
○大有丸 九月十九日後四時出帆
○神代丸 九月 日後四時出帆
○秀吉丸 九月廿六日後四時出帆
仁川海岸通一丁目 電話五十九番 高杉回漕部

日本郵船仁川出帆
○大連、太沽、牛莊行
相模丸 十月九日 正午出帆
高砂丸 九月十九日 後六出帆
三河丸 九月廿八日 正午出帆
仁川海岸町十一番 電話十二番 堀回漕部